

再 評 価 に 係 る 資 料

【道路関係】

平成 2 3 年 1 1 月 1 0 日

国土交通省中部地方整備局
中日本高速道路株式会社

目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価対象事業一覧表	2
3. 事業再評価対象事業再評価結果原案、B/Cバックデータ	
○一般国道475号 東海環状自動車道(土岐～関)	3
○一般国道475号 東海環状自動車道(関～養老)	2 7
○一般国道475号 東海環状自動車道(養老～北勢)	4 7
○一般国道475号 東海環状自動車道(北勢～四日市)	6 7

事業再評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

整理番号	事業種別※1	該当項目※2	都道府県名	路線番号	箇所名	事業の目的	事業延長(km)	事業化年度	都市計画決定又は変更年度	用地着手年度	工事着手年度	供用済み延長(km)	全体事業費(億円)	事業進捗率(%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B/C	対応方針(原案)	備考
1	高	④	岐阜	475	東海環状自動車道(土岐～関)	・広域ネットワークの構築 ・地域経済活性化の支援 ・地域活性化の支援 ・災害に強い道路機能の確保	39.0	H1	H1	H2	H8	-	4,000	74	・東海環状自動車道内側の名古屋市の渋滞が激しく、近畿～北陸圏・甲信越へは渋滞する名古屋市街地を通過せざるを得ない状況である。 ・東海環状自動車道東回り区間供用後、沿線地域の工業団地立地件数が増加している。 ・東海環状自動車道東回り区間供用後、沿線地区では観光客が増加した。また東回り区間は、平日よりも休日の交通量の方が多い。 ・東海・東南海・南海地震の発生が予測されている。	・美濃関JCT(L=2.4km)は、平成27年度の供用を予定。	全体事業 1.7 残事業 2.9	事業継続	
2	高	④	岐阜	475	東海環状自動車道(関～養老)	・広域ネットワークの構築 ・地域経済活性化の支援 ・地域活性化の支援 ・災害に強い道路機能の確保	44.2	H6	H8	H13	H19	-	5,100	11	・東海環状自動車道内側の名古屋市の渋滞が激しく、近畿～北陸圏・甲信越へは渋滞する名古屋市街地を通過せざるを得ない状況である。 ・東海環状自動車道東回り供用後、沿線地域の工業団地立地件数が増加している。 ・東海環状自動車道東回りの供用後、沿線地区では観光客が増加した。 ・東海・東南海・南海地震の発生が予測されている。また、濃尾平野は我が国最大のゼロメートル地帯を有し、大きな水害を被っている。	・大垣西IC(仮称)～養老JCT(仮称)(L=5.7km)は、平成24年度の暫定2車線供用を予定。 ・関広見IC(仮称)～養老IC(仮称)(L=38.5km)は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。	全体事業 1.3 残事業 1.6	事業継続	
3	高	④	岐阜三重	475	東海環状自動車道(養老～北勢)	・広域ネットワークの構築 ・地域経済活性化の支援 ・地域活性化の支援 ・災害に強い道路機能の確保	18.0	H10	H19	-	-	-	1,500	1	・東海環状自動車道内側の名古屋市の渋滞が激しく、近畿～北陸圏・甲信越へは渋滞する名古屋市街地を通過せざるを得ない状況である。 ・東海環状自動車道東回り区間供用後、沿線地域の工業団地立地件数が増加している。 ・新名神高速道路の供用により、北勢地域の主要観光施設の入込客は増加傾向を維持している。 ・東海・東南海・南海地震の発生が予測されるが、三重・岐阜間の第1次緊急輸送道路は一般道路1ルートのみで代替性が確保されていない。	・養老IC(仮称)～北勢IC(仮称)(L=18.0km)は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。	全体事業 1.6 残事業 1.7	事業継続	
4	高	④	三重	475	東海環状自動車道(北勢～四日市)	・広域ネットワークの構築 ・地域経済活性化の支援 ・地域活性化の支援 ・災害に強い道路機能の確保	14.4	H2	H3	H5	H9	-	1,300	25	・名神高速道路大垣IC～米原JCT間にて交通規制が発生した場合、三重県北勢地域から岐阜県方面間は大きな迂回が必要。 ・四日市港の外資コンテナ取扱量はここ数年増加傾向、平成22年に過去最高を更新。 ・新名神高速道路の供用は周辺地域の観光施設入込客数増加に貢献し、北勢地域の主要観光施設の入込客数では増加傾向が持続。 ・岐阜県と三重県を結ぶ第1次緊急輸送道路の代替路が未確保。	・東員IC(仮称)～四日市北JCT(仮称)(L=1.7km)は、平成27年度の完成供用を予定。 ・北勢IC(仮称)～東員IC(仮称)(L=12.7km)は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。	全体事業 1.7 残事業 2.6	事業継続	

※1.(事業種別) 高規格:高 地域高規格:地高 一般1次改築:1次 一般2次改築:2次
 ※2.(再評価該当項目)
 ①事業採択後5年間(※3年間又は経過措置)を経過した時点で未着工の事業
 ②事業採択後10年間(※5年間又は経過措置)を経過した時点で継続中の事業
 ③準備・計画段階で5年間(※3年間又は経過措置)が経過している事業
 ④再評価実施後5年間(※3年間又は経過措置)が経過している事業
 ⑤その他
 ※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名 一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道（土岐～関）	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局 中日本高速道路（株）			
起終点 自：岐阜県土岐市土岐津町 至：岐阜県関市広見	延長 39.0km				
事業概要 一般国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。 本事業の東海環状自動車道（土岐～関）は、岐阜県土岐市土岐津町から岐阜県関市広見に至る延長39.0kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）であり、広域ネットワークの構築、地域経済活性化の支援、地域活性化の支援や災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。					
H元年度事業化	H元年度都市計画決定	H2年度用地着手	H8年度工事着手		
全体事業費	4,000億円	事業進捗率	74%	供用済延長	2.9km (4車線区間)
計画交通量		26,300台/日			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 593/5,027億円 事業費：556/4732億円 維持管理費：37/295億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,741/8,686億円 走行時間短縮便益：1703/7624億円 走行経費減少便益：8.8/757億円 交通事故減少便益：29/305億円	基準年 平成23年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=3.7（交通量+10%） B/C=2.2（交通量-10%） 事業費：B/C=2.7（事業費+10%） B/C=3.2（事業費-10%） 事業期間：B/C=2.6（事業期間+20%） B/C=3.3（事業期間-20%）					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道の年間渋滞損失時間の削減【現況約736.7万人時間/年、削減率約16.6%】 ・並行区間の旅行速度改善【国道21号多治見市等13.3km/h⇒26.1km/h】 ・空港へのアクセス向上【関市～中部国際空港 107分⇒104分】 ②物流効率化の支援 ・特定重要港湾へのアクセス向上【可児市～名古屋港 90分⇒78分】 ③都市の再生 ・都市再生プロジェクトを支援【都市再生プロジェクト 第2次決定 平成13年8月28日】 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成【東海環状自動車道（名古屋大都市圏）】 ④国土・地域ネットワーク構築 ・新たな拠点都市間を高規格幹線道路で連絡【関市、美濃加茂市、土岐市、豊田市】 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡【多治見市、土岐市、可児市、美濃加茂市、関市、美濃市】 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上【関市～土岐市 23分短縮】【関市～豊田市 18分短縮】 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援【関テクノハイランド、東濃研究学園都市構想】 ・主要観光地へのアクセス向上【土岐プレミアムアウトレット439万人（H21実績） 30分圏域の拡大 圏域人口37万人⇒50万人】 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上【県立多治見病院、岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院、岐阜大学医学部付属病院 八百津町～中濃厚生病院 46分⇒43分】 ⑦安全な生活環境の確保 ・死傷事故率500件/億台キロ以上の区間の安全性向上【国道19号（池田町交差点付近）等 7箇所】 ⑧災害への備え					

- ・緊急輸送道路としての位置づけ【名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想】
- ・緊急輸送道路の代替路線を形成【中央道土岐JCT～小牧JCT、東海北陸道一宮JCT～美濃関JCT、東名高速道路（一宮JCT～小牧JCT）】

⑨地球環境の保全

- ・CO2排出量削減【並行区間 14,323t-CO2削減】

⑩生活環境の改善・保全

- ・NO2排出量削減【並行区間 49.8t削減 9.1%削減】
- ・SPM排出量削減【並行区間 4.68t削減 9.0%削減】
- ・騒音レベル夜間要請限度の改善【並行区間 9箇所、20.0km】

関係する地方公共団体等の意見

東海環状自動車道（土岐～関）は、地域の産業・経済活性化に重要な役割を果たすことが期待されており、美濃加茂市・関市をはじめとする7市7町1村の首長で構成される東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会より建設促進の要望を受けている。

県知事の意見

対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。
事業実施にあたっては、養老JCT（仮称）～大垣西IC（仮称）間の平成24年9月から開催する「ぎふ清流国体」までの開通、その他区間の早期完成をお願いします。また、早期に効果が発現されるようジャンクションから順に段階的な供用を図るとともに、コスト縮減の徹底を要請します。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

H22年度末現在、新名神高速道路と東海北陸自動車道が供用し、北陸・近畿とのアクセス性が向上した。H30年度までに新名神高速道路・新東名高速道路の供用により東西軸の強化が見込まれ、南北軸は東海環状自動車道の整備が必要である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は74%、用地取得率は100%。（平成22年度末）
- ・平成21年度までに全線暫定供用済み。（土岐南多治見IC～土岐JCT間L=2.9km 4車線、土岐JCT～関広見IC間L=36.1km 2車線）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・美濃関JCT（L=2.4km）は、平成27年度の供用を予定

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

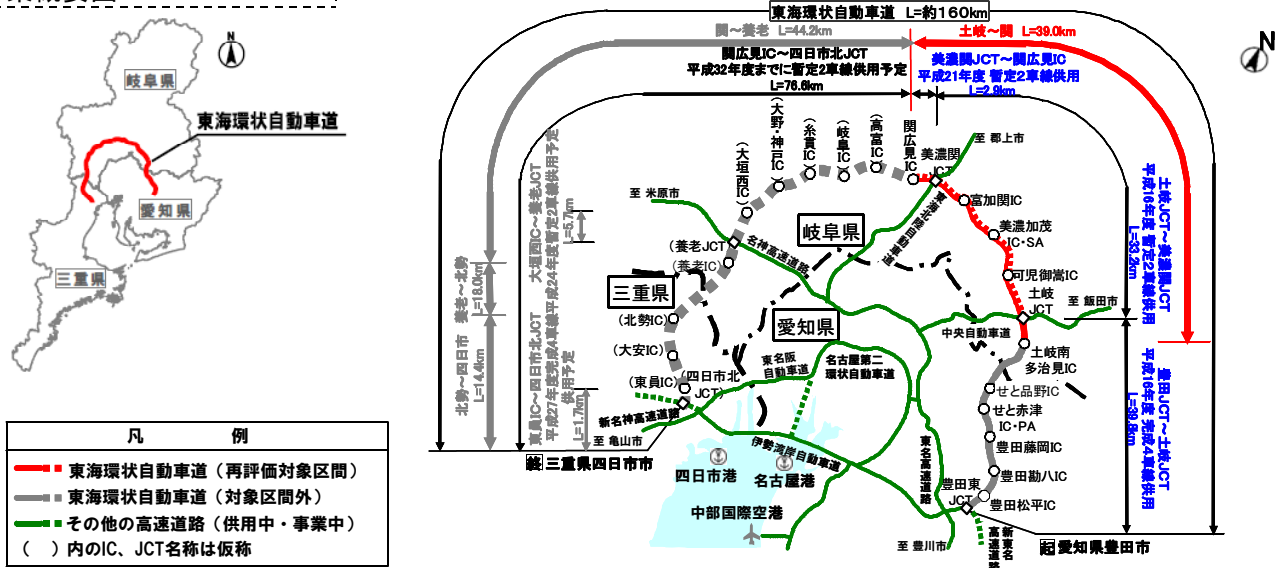
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道475号 東海環状自動車道（土岐～関）
事業主体	中部地方整備局 中日本高速道路（株）

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標チェックの根拠
前提条件 事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C) = 1.7 経済的純現在価値(B-C) = 3,660億円 経済的内部収益率(EIRR) = 6.5% 残事業：費用便益比(B/C) = 2.9 経済的純現在価値(B-C) = 1,148億円 経済的内部収益率(EIRR) = 9.8%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 ■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の際切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり 	<p>区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備なし）：88,143.6万人・時間/年 渋滞損失削減時間：1,228.4万人・時間/年（88,143.6万人・時間/年⇒86,915.2万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：国道21号、国道156号、国道248号、国道156号、国道248号 並行区間の渋滞損失時間：736.7万人・時間/年（国道21号、国道156号、国道248号） 並行区間の渋滞損失削減率：16.6%削減（国道21号、国道156号、国道248号）</p> <p>対象区間（多治見市内国道248号）等、改善見込み（旅行速度13.3km/h⇒26.1km/h）</p>
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> □ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である 	<p>対象空港（中部国際空港）、対象自治体名（多治見市、可児市、美濃加茂市、関市） 改善見込み（関市～中部国際空港、107分⇒104分 等）</p> <p>対象港湾（名古屋港）、対象自治体名（多治見市、可児市、美濃加茂市、関市） 改善見込み（可児市～名古屋港、90分⇒78分 等）</p>
1. 活力 都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり 	<p>都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日）</p> <p>東海環状自動車道（名古屋大都市圏）</p>

	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関テクノハイランド ・ 東濃研究学園都市構想 ・ 土岐プレミアムアウトレット(439万人・H21実績) ・ 花フェスタ記念公園(39万人・H21実績) ・ 平和記念公園日本昭和村(53万人・H21実績) ・ 岐阜ファミリーパーク(52万人・H21実績) ・ 土岐プレミアムアウトレットの30分圏域の拡大(圏域人口37万人⇒50万人)
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土岐プレミアムアウトレット(439万人・H21実績) ・ 花フェスタ記念公園(39万人・H21実績) ・ 平和記念公園日本昭和村(53万人・H21実績) ・ 岐阜ファミリーパーク(52万人・H21実績) ・ 土岐プレミアムアウトレットの30分圏域の拡大(圏域人口37万人⇒50万人)
2. 暮らし	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土岐プレミアムアウトレット(439万人・H21実績) ・ 花フェスタ記念公園(39万人・H21実績) ・ 平和記念公園日本昭和村(53万人・H21実績) ・ 岐阜ファミリーパーク(52万人・H21実績) ・ 土岐プレミアムアウトレットの30分圏域の拡大(圏域人口37万人⇒50万人)
3. 安全	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土岐プレミアムアウトレット(439万人・H21実績) ・ 花フェスタ記念公園(39万人・H21実績) ・ 平和記念公園日本昭和村(53万人・H21実績) ・ 岐阜ファミリーパーク(52万人・H21実績) ・ 土岐プレミアムアウトレットの30分圏域の拡大(圏域人口37万人⇒50万人)

	<p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が道学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり</p> <p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大規模な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)</p> <p>□ 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくはは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>	災害への備え
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p> <p>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM10削減率: 対象地域外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績: 対象路線周辺では美濃加茂、笠原、土岐、可児自排、土岐自排の5箇所で達成(資料結果) 評価対象区間(並行区間): 国道21号、国道156号、国道248号 排出削減量: 49.8t/年、排出削減率: 9.1%削減</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM10削減率: 対象地域外 SPM1について環境基準を達成している測定局数の実績: 対象路線周辺では美濃加茂、笠原、土岐、可児自排、土岐自排の5箇所で達成(推計結果) 評価対象区間(並行区間): 国道21号、国道156号、国道248号 排出削減量: 4.68t/年、排出削減率: 9.0%削減</p> <p>■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</p> <p>□ その他、環境や景観上の効果が期待される</p>	地球環境の保全 生活環境の改善・保全
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p> <p>□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	他のプロジェクトとの関係

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道475号	東海環状自動車道 (土岐～関)	L = 39.0km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26,300	4	中部地方整備局 中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	3,877億円	696億円	4,572億円
うち残事業分	802億円	153億円	956億円
基準年における 現在価値(C)	4,732億円	295億円	5,027億円
うち残事業分	556億円	37億円	593億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成21年度			
単年便益 (初年便益)	264億円	32億円	12億円	308億円
基準年における 現在価値(B)	7,624億円	757億円	305億円	8,686億円
うち残事業分	1,703億円	8.8億円	29億円	1,741億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	3,660億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.5%
費用便益比（残事業）	2.9
経済的純現在価値（残事業）	1,148億円
経済的内部収益率（残事業）	9.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	26,300台/日	±10%	2.2~3.7
事業費	802億円	±10%	2.7~3.2
事業期間	16年	±20%	2.6~3.3

交通状況の変化

事業名：東海環状自動車道（土岐～関）（事業全体）

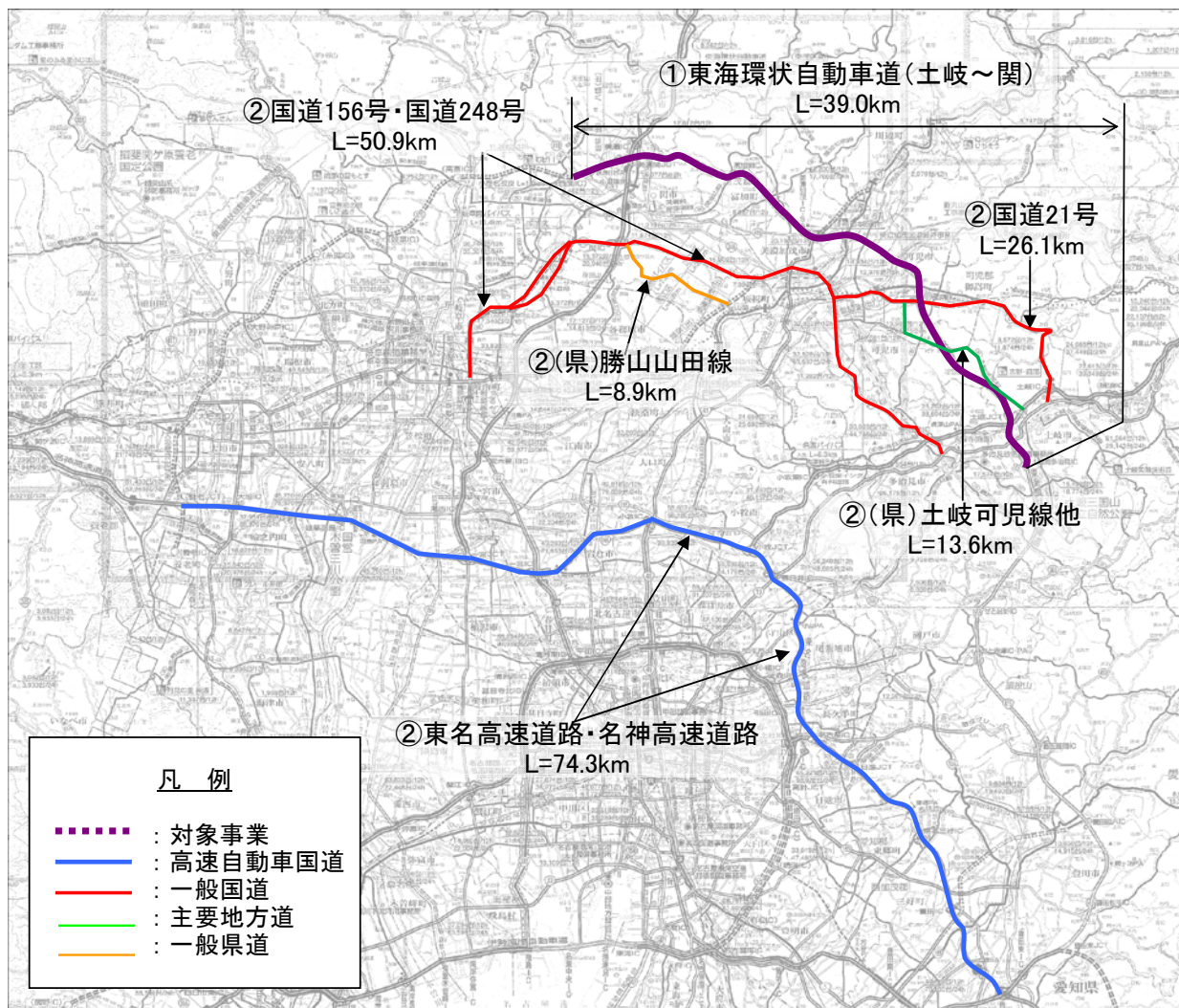
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東海環状自動車道 (土岐～関)] : 39.0km	交通量※1	[台/日]	-	26,300	
	走行時間※2	[分]	-	27	
	走行時間費用※3	[億円/年]	-	129.13	
②主な周辺道路※4	東名高速・名神高速 : 74.3km	交通量	[台/日]	64,300	58,500
		走行時間	[分]	61	59
		走行時間費用	[億円/年]	745.38	655.65
	国道156号・国道248号 : 50.9km	交通量	[台/日]	24,900	24,200
		走行時間	[分]	105	103
		走行時間費用	[億円/年]	444.47	424.95
	国道21号 : 26.1km	交通量	[台/日]	22,100	18,400
		走行時間	[分]	43	41
		走行時間費用	[億円/年]	178.46	137.10
	(県)土岐 可児線他 : 13.6km	交通量	[台/日]	8,800	5,800
		走行時間	[分]	30	26
		走行時間費用	[億円/年]	50.05	27.81
	(県)勝山 山田線 : 8.9km	交通量	[台/日]	8,200	6,600
		走行時間	[分]	23	21
		走行時間費用	[億円/年]	33.64	25.00
③その他道路合計 : 15,103.8km	走行時間費用	[億円/年]	60,857.82	60,490.86	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：15,316.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	62,309.82	61,890.50	419.32

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②) に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

事業名：東海環状自動車道（土岐～関）（残事業）

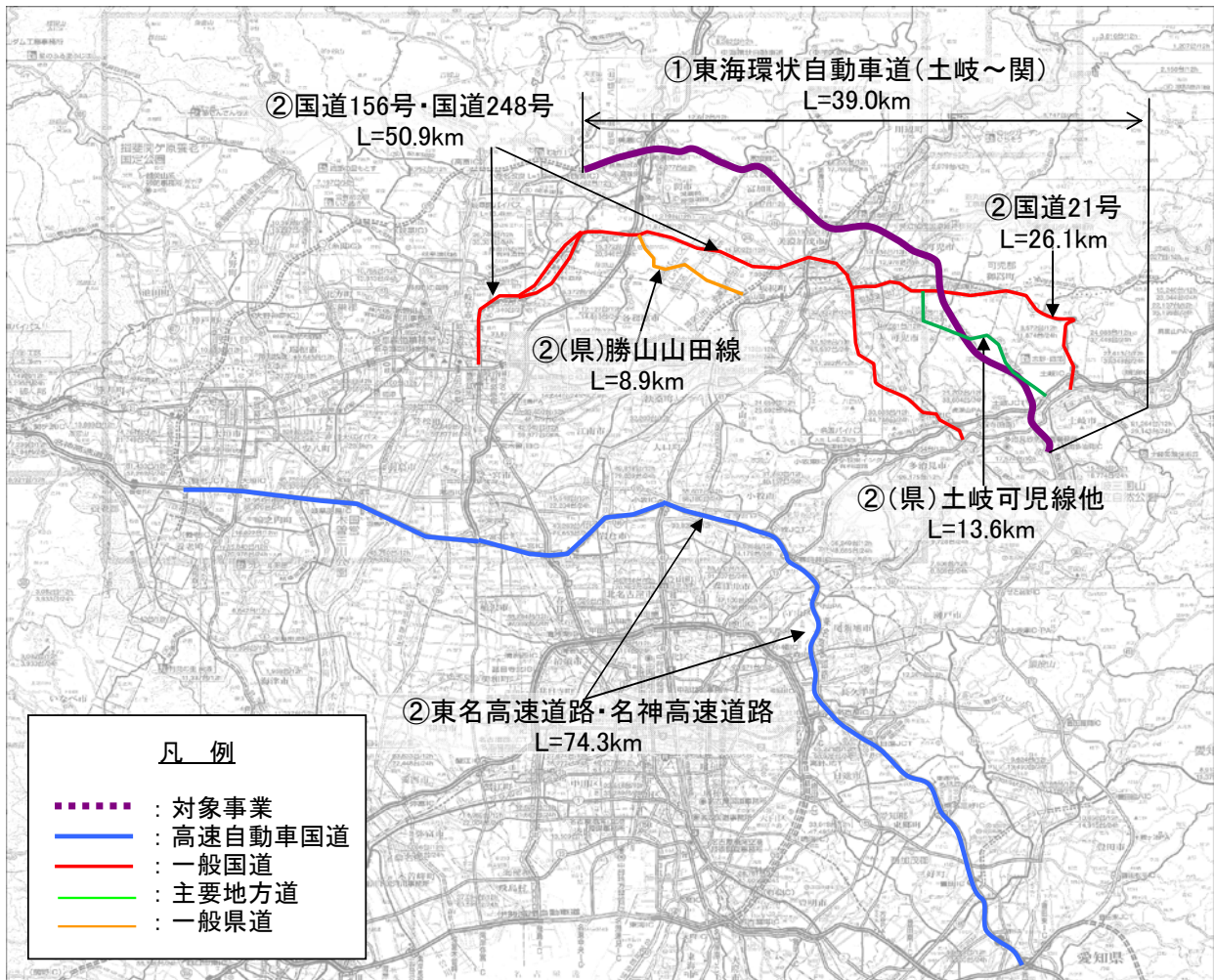
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東海環状自動車道 (土岐～関)] : 39.0km	交通量※1	[台/日]	17,000	26,300	
	走行時間※2	[分]	50	27	
	走行時間費用※3	[億円/年]	154.76	129.13	
②主な周辺道路※4	東名高速・名神高速 : 74.3km	交通量	[台/日]	60,600	58,500
		走行時間	[分]	60	59
		走行時間費用	[億円/年]	689.81	655.65
	国道156号・国道248号 : 50.9km	交通量	[台/日]	24,500	24,200
		走行時間	[分]	104	103
		走行時間費用	[億円/年]	432.25	424.95
	国道21号 : 26.1km	交通量	[台/日]	19,500	18,400
		走行時間	[分]	41	41
		走行時間費用	[億円/年]	146.59	137.10
	(県)土岐 可児線他 : 13.6km	交通量	[台/日]	5,900	5,800
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	28.64	27.81
	(県)勝山 山田線 : 8.9km	交通量	[台/日]	7,800	6,600
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	31.71	25.00
③その他道路合計 : 15,103.8km	走行時間費用	[億円/年]	60,566.59	60,490.86	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：15,316.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	62,050.36	61,890.50	159.86

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：東海環状自動車道（土岐～関）

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (平成42年)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名: 東海環状自動車道(土岐～関)

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		中日本高速道路(株)の維持管理計画を踏まえた単価を使用	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（土岐～関）（事業全体）				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.40	39.0	15.50	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-20年目	H1	2.3699	97.4	2.90	6.35		
-19年目	H2	2.2788	99.6	17.40	35.82		
-18年目	H3	2.1911	102.0	28.40	54.91		
-17年目	H4	2.1068	103.4	29.49	54.09		
-16年目	H5	2.0258	103.7	57.63	101.31		
-15年目	H6	1.9479	103.6	67.22	113.74		
-14年目	H7	1.8730	103.0	90.22	147.65		
-13年目	H8	1.8009	102.4	116.04	183.67		
-12年目	H9	1.7317	103.4	113.58	171.20		
-11年目	H10	1.6651	102.8	160.08	233.37		
-10年目	H11	1.6010	101.3	242.20	344.51		
-9年目	H12	1.5395	99.7	362.22	503.39		
-8年目	H13	1.4802	98.4	434.84	588.70		
-7年目	H14	1.4233	96.6	370.94	491.88		
-6年目	H15	1.3686	95.4	383.48	495.12		
-5年目	H16	1.3159	94.4	379.80	476.49		
-4年目	H17	1.2653	93.2	59.16	72.29		
-3年目	H18	1.2167	92.5	33.28	39.39		
-2年目	H19	1.1699	91.7	52.18	59.91		
-1年目	H20	1.1249	91.2	57.53	63.87		
供用開始年次	H21	1.0816	90.0	7.49	8.11	9.30	10.06
1年目	H22	1.0400	90.0	6.13	6.37	9.31	9.69
基準年	H23	1.0000	90.0	2.31	2.31	9.33	9.33
3年目	H24	0.9615	90.0	4.10	3.94	9.34	8.98
4年目	H25	0.9246	90.0	20.49	18.94	9.35	8.65
5年目	H26	0.8890	90.0	13.07	11.62	9.36	8.32
6年目	H27	0.8548	90.0	134.14	114.67	9.38	8.01
7年目	H28	0.8219	90.0	21.80	17.92	9.39	7.72
8年目	H29	0.7903	90.0	41.35	32.68	9.40	7.43
9年目	H30	0.7599	90.0	25.34	19.25	9.56	7.26
10年目	H31	0.7307	90.0	32.34	23.63	9.69	7.08
11年目	H32	0.7026	90.0	46.18	32.45	9.78	6.87
12年目	H33	0.6756	90.0	61.93	41.84	10.07	6.80
13年目	H34	0.6496	90.0	71.70	46.58	10.10	6.56
14年目	H35	0.6246	90.0	78.27	48.89	10.23	6.39
15年目	H36	0.6006	90.0	82.81	49.74	10.37	6.23
16年目	H37	0.5775	90.0	65.83	38.02	10.64	6.15
17年目	H38	0.5553	90.0	53.23	29.56	10.75	5.97
18年目	H39	0.5339	90.0	49.84	26.61	10.92	5.83
19年目	H40	0.5134	90.0			14.51	7.45
20年目	H41	0.4936	90.0			14.67	7.24
21年目	H42	0.4746	90.0			14.76	7.00
22年目	H43	0.4564	90.0			14.96	6.83
23年目	H44	0.4388	90.0			15.14	6.64
24年目	H45	0.4220	90.0			15.35	6.48
25年目	H46	0.4057	90.0			15.49	6.29
26年目	H47	0.3901	90.0			15.62	6.09
27年目	H48	0.3751	90.0			15.76	5.91
28年目	H49	0.3607	90.0			15.87	5.72
29年目	H50	0.3468	90.0			16.01	5.55
30年目	H51	0.3335	90.0			16.20	5.40
31年目	H52	0.3207	90.0			16.36	5.25
32年目	H53	0.3083	90.0			16.55	5.10
33年目	H54	0.2965	90.0			16.64	4.93
34年目	H55	0.2851	90.0			16.77	4.78

35年目	H56	0.2741	90.0			16.89	4.63
36年目	H57	0.2636	90.0			17.05	4.49
37年目	H58	0.2534	90.0			17.24	4.37
38年目	H59	0.2437	90.0			17.18	4.19
39年目	H60	0.2343	90.0			17.11	4.01
40年目	H61	0.2253	90.0			17.00	3.83
41年目	H62	0.2166	90.0			19.52	4.23
42年目	H63	0.2083	90.0			17.23	3.59
43年目	H64	0.2003	90.0			17.19	3.44
44年目	H65	0.1926	90.0			17.15	3.30
45年目	H66	0.1852	90.0			17.09	3.17
46年目	H67	0.1780	90.0			17.05	3.04
47年目	H68	0.1712	90.0			17.01	2.91
48年目	H69	0.1646	90.0			16.97	2.79
49年目	H70	0.1583	90.0	-497.96	-78.83	16.93	2.68
合計				3379.01	4731.96	695.51	294.66
単純事業費計				3876.97		695.51	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（土岐～関）（残事業）				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.09	39.0	3.55	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単価	現在価値	単価	現在価値
-39年目	H1	2.3699	97.4				
-38年目	H2	2.2788	99.6				
-37年目	H3	2.1911	102.0				
-36年目	H4	2.1068	103.4				
-35年目	H5	2.0258	103.7				
-34年目	H6	1.9479	103.6				
-33年目	H7	1.8730	103.0				
-32年目	H8	1.8009	102.4				
-31年目	H9	1.7317	103.4				
-30年目	H10	1.6651	102.8				
-29年目	H11	1.6010	101.3				
-28年目	H12	1.5395	99.7				
-27年目	H13	1.4802	98.4				
-26年目	H14	1.4233	96.6				
-25年目	H15	1.3686	95.4				
-24年目	H16	1.3159	94.4				
-23年目	H17	1.2653	93.2				
-22年目	H18	1.2167	92.5				
-21年目	H19	1.1699	91.7				
-20年目	H20	1.1249	91.2				
-19年目	H21	1.0816	90.0				
-18年目	H22	1.0400	90.0				
-17年目	H23	1.0000	90.0				
-16年目	H24	0.9615	90.0	4.10	3.94		
-15年目	H25	0.9246	90.0	20.49	18.94		
-14年目	H26	0.8890	90.0	13.07	11.62		
-13年目	H27	0.8548	90.0	134.14	114.67		
-12年目	H28	0.8219	90.0	21.80	17.92		
-11年目	H29	0.7903	90.0	41.35	32.68		
-10年目	H30	0.7599	90.0	25.34	19.25		
-9年目	H31	0.7307	90.0	32.34	23.63		
-8年目	H32	0.7026	90.0	46.18	32.45		
-7年目	H33	0.6756	90.0	61.93	41.84		
-6年目	H34	0.6496	90.0	71.70	46.58		
-5年目	H35	0.6246	90.0	78.27	48.89		
-4年目	H36	0.6006	90.0	82.81	49.74		
-3年目	H37	0.5775	90.0	65.83	38.02		
-2年目	H38	0.5553	90.0	53.23	29.56		
-1年目	H39	0.5339	90.0	49.84	26.61		
供用開始年次	H40	0.5134	90.0			3.44	1.76
1年目	H41	0.4936	90.0			3.42	1.69
2年目	H42	0.4746	90.0			3.38	1.60
3年目	H43	0.4564	90.0			3.38	1.54
4年目	H44	0.4388	90.0			3.38	1.48
5年目	H45	0.4220	90.0			3.39	1.43
6年目	H46	0.4057	90.0			3.38	1.37
7年目	H47	0.3901	90.0			3.34	1.30
8年目	H48	0.3751	90.0			3.32	1.25
9年目	H49	0.3607	90.0			3.28	1.18
10年目	H50	0.3468	90.0			3.26	1.13
11年目	H51	0.3335	90.0			3.27	1.09
12年目	H52	0.3207	90.0			3.25	1.04
13年目	H53	0.3083	90.0			3.25	1.00
14年目	H54	0.2965	90.0			3.20	0.95

15年目	H55	0.2851	90.0			3.17	0.90
16年目	H56	0.2741	90.0			3.14	0.86
17年目	H57	0.2636	90.0			3.12	0.82
18年目	H58	0.2534	90.0			3.12	0.79
19年目	H59	0.2437	90.0			3.10	0.75
20年目	H60	0.2343	90.0			3.07	0.72
21年目	H61	0.2253	90.0			3.03	0.68
22年目	H62	0.2166	90.0			4.06	0.88
23年目	H63	0.2083	90.0			3.12	0.65
24年目	H64	0.2003	90.0			3.09	0.62
25年目	H65	0.1926	90.0			3.08	0.59
26年目	H66	0.1852	90.0			3.06	0.57
27年目	H67	0.1780	90.0			3.04	0.54
28年目	H68	0.1712	90.0			3.02	0.52
29年目	H69	0.1646	90.0			3.00	0.49
30年目	H70	0.1583	90.0			2.99	0.47
31年目	H71	0.1522	90.0			2.97	0.45
32年目	H72	0.1463	90.0			2.94	0.43
33年目	H73	0.1407	90.0			2.94	0.41
34年目	H74	0.1353	90.0			2.92	0.39
35年目	H75	0.1301	90.0			2.90	0.38
36年目	H76	0.1251	90.0			2.89	0.36
37年目	H77	0.1203	90.0			2.87	0.34
38年目	H78	0.1157	90.0			2.84	0.33
39年目	H79	0.1112	90.0			2.82	0.31
40年目	H80	0.1069	90.0			2.80	0.30
41年目	H81	0.1028	90.0			2.79	0.29
42年目	H82	0.0989	90.0			2.76	0.27
43年目	H83	0.0951	90.0			2.75	0.26
44年目	H84	0.0914	90.0			2.73	0.25
45年目	H85	0.0879	90.0			2.71	0.24
46年目	H86	0.0845	90.0			2.69	0.23
47年目	H87	0.0813	90.0			2.67	0.22
48年目	H88	0.0781	90.0			2.66	0.21
49年目	H89	0.0751	90.0			2.64	0.20
合計				802.44	556.34	153.43	36.53
単純事業費計				802.44		153.43	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：東海環状自動車道（土岐～関）（事業全体）

年次	年度 (基業年)	総走行台別の年次別伸び率 (東海)				GDP デフレータ	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)			合計 便益合計 (①~③) 割引率4%				
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	現在価値 (A)×②	乗用車類	小型貨物	普通貨物		②計	③	現在価値 (3)×(A)	
供用開始年次	H23																				
1年目	H21	0.99967	0.99253	1.00138	0.99874	90.0	1.0816	149.57	40.45	74.01	264.03	285.58	18.97	3.95	8.92	31.85	34.45	12.08	13.07	307.97	333.10
2年目	H22	0.99967	0.99242	1.00137	0.99873	90.0	1.0400	149.52	40.15	74.12	263.79	274.34	18.97	3.92	8.94	31.83	33.10	12.07	12.55	307.68	319.99
3年目	H23	0.99967	0.99242	1.00137	0.99873	90.0	1.0400	149.47	39.85	74.22	263.54	283.54	18.96	3.89	8.95	31.80	31.80	12.05	12.55	307.39	307.39
4年目	H24	0.99967	0.99236	1.00137	0.99873	90.0	0.9615	149.42	39.55	74.32	263.29	283.15	18.95	3.86	8.96	31.78	30.55	12.04	11.57	307.10	295.27
5年目	H25	0.99967	0.99230	1.00137	0.99873	90.0	0.9246	149.37	39.24	74.42	263.04	283.20	18.95	3.83	8.97	31.75	29.36	12.02	11.12	306.81	283.68
6年目	H26	0.99967	0.99224	1.00137	0.99873	90.0	0.8890	149.32	38.94	74.52	262.79	283.62	18.94	3.80	8.99	31.73	28.21	12.01	10.67	306.53	272.50
7年目	H27	0.99967	0.99212	1.00136	0.99873	90.0	0.8548	149.27	38.64	74.62	262.54	284.42	18.94	3.77	9.00	31.71	27.10	11.99	10.25	306.24	261.77
8年目	H28	0.99967	0.99206	1.00136	0.99873	90.0	0.7903	149.17	38.03	74.83	262.04	207.09	18.92	3.71	9.02	31.66	25.02	11.96	9.45	305.66	241.56
9年目	H29	0.99967	0.99200	1.00136	0.99872	90.0	0.7599	149.13	37.73	74.93	261.79	198.93	18.92	3.69	9.03	31.64	24.04	11.95	9.08	305.09	222.93
10年目	H30	0.99967	0.99193	1.00136	0.99872	90.0	0.7307	149.08	37.43	75.03	261.54	191.11	18.91	3.66	9.05	31.61	23.10	11.93	8.72	305.09	222.93
11年目	H31	0.99967	0.99188	1.00061	0.99916	90.0	0.7026	149.03	37.13	75.14	261.29	183.58	18.90	3.63	9.06	31.59	22.20	11.92	8.37	304.80	214.15
12年目	H32	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	90.0	0.6756	149.10	36.83	75.18	261.11	176.40	18.91	3.60	9.06	31.58	21.33	11.91	8.04	304.59	205.77
13年目	H33	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	90.0	0.6496	149.17	36.53	75.23	260.93	169.50	18.92	3.57	9.07	31.56	20.50	11.90	7.73	304.38	197.73
14年目	H34	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	90.0	0.6246	149.25	36.22	75.27	260.74	162.86	18.93	3.54	9.08	31.53	19.70	11.89	7.42	304.17	189.98
15年目	H35	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	90.0	0.6006	149.32	35.92	75.32	260.56	156.49	18.94	3.51	9.08	31.53	18.94	11.88	7.13	303.97	182.56
16年目	H36	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	90.0	0.5775	149.39	35.62	75.36	260.38	150.37	18.95	3.48	9.09	31.52	18.20	11.87	6.85	303.76	175.42
17年目	H37	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	90.0	0.5553	149.47	35.32	75.41	260.19	144.48	18.96	3.45	9.09	31.50	17.49	11.86	6.58	303.55	168.55
18年目	H38	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	90.0	0.5339	149.54	35.02	75.45	260.01	138.52	18.97	3.42	9.10	31.49	16.81	11.85	6.32	303.34	161.95
19年目	H39	1.00049	0.99132	1.00060	0.99916	90.0	0.5134	149.61	34.73	75.49	259.83	132.58	18.98	3.40	9.10	31.48	16.14	11.84	6.04	303.13	155.33
20年目	H40	1.00049	0.99125	1.00060	0.99916	90.0	0.4936	149.68	34.44	75.53	259.65	126.63	18.99	3.38	9.10	31.47	15.47	11.83	5.77	302.92	148.83
21年目	H41	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	90.0	0.4746	149.75	34.15	75.57	259.47	120.67	19.00	3.36	9.10	31.46	14.80	11.82	5.50	302.71	142.71
22年目	H42	0.99216	0.99373	1.00220	0.99408	90.0	0.4564	149.82	33.86	75.61	259.29	114.72	19.01	3.34	9.10	31.45	14.13	11.81	5.23	302.50	136.59
23年目	H43	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	90.0	0.4388	149.89	33.57	75.65	259.11	108.77	19.02	3.32	9.10	31.44	13.46	11.80	4.96	302.29	130.46
24年目	H44	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	90.0	0.4220	149.96	33.28	75.69	258.93	102.82	19.03	3.30	9.10	31.43	12.79	11.79	4.69	302.08	124.31
25年目	H45	0.99197	0.99361	1.00219	0.99390	90.0	0.4057	150.03	33.00	75.73	258.75	96.87	19.04	3.28	9.10	31.42	12.12	11.78	4.42	301.87	118.16
26年目	H46	0.99191	0.99357	1.00219	0.99383	90.0	0.3901	150.10	32.72	75.77	258.57	90.91	19.05	3.26	9.10	31.41	11.45	11.77	4.15	301.66	112.01
27年目	H47	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	90.0	0.3751	150.17	32.44	75.81	258.39	84.95	19.06	3.24	9.10	31.40	10.78	11.76	3.88	301.45	105.86
28年目	H48	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	90.0	0.3607	150.24	32.16	75.85	258.21	79.00	19.07	3.22	9.10	31.39	10.11	11.75	3.61	301.24	99.71
29年目	H49	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	90.0	0.3468	150.31	31.88	75.89	258.03	73.05	19.08	3.20	9.10	31.38	9.44	11.74	3.34	301.03	93.56
30年目	H50	0.99163	0.99341	1.00217	0.99370	90.0	0.3335	150.38	31.60	75.93	257.85	67.10	19.09	3.18	9.10	31.37	8.77	11.73	3.07	300.82	87.41
31年目	H51	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	90.0	0.3207	150.45	31.32	75.97	257.67	61.15	19.10	3.16	9.10	31.36	8.10	11.72	2.80	300.61	81.26
32年目	H52	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	90.0	0.3083	150.52	31.04	76.01	257.49	55.20	19.11	3.14	9.10	31.35	7.43	11.71	2.53	300.40	75.11
33年目	H53	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	90.0	0.2965	150.59	30.76	76.05	257.31	49.25	19.12	3.12	9.10	31.34	6.76	11.70	2.26	300.19	68.96
34年目	H54	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	90.0	0.2851	150.66	30.48	76.09	257.13	43.30	19.13	3.10	9.10	31.33	6.09	11.69	2.00	299.98	62.81
35年目	H55	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	90.0	0.2741	150.73	30.20	76.13	256.95	37.35	19.14	3.08	9.10	31.32	5.42	11.68	1.73	299.77	56.66
36年目	H56	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	90.0	0.2636	150.80	29.92	76.17	256.77	31.40	19.15	3.06	9.10	31.31	4.75	11.67	1.46	299.56	50.51
37年目	H57	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	90.0	0.2534	150.87	29.64	76.21	256.59	25.45	19.16	3.04	9.10	31.30	4.08	11.66	1.20	299.35	44.36
38年目	H58	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	90.0	0.2437	150.94	29.36	76.25	256.41	19.50	19.17	3.02	9.10	31.29	3.41	11.65	0.94	299.14	38.21
39年目	H59	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	90.0	0.2343	151.01	29.08	76.29	256.23	13.55	19.18	3.00	9.10	31.28	2.74	11.64	0.68	298.93	32.06
40年目	H60	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	90.0	0.2253	151.08	28.80	76.33	256.05	7.60	19.19	2.98	9.10	31.27	2.07	11.63	0.42	298.72	25.91
41年目	H61	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	90.0	0.2166	151.15	28.52	76.37	255.87	1.65	19.20	2.96	9.10	31.26	1.40	11.62	0.16	298.51	19.76
42年目	H62	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	90.0	0.2083	151.22	28.24	76.41	255.69	-4.30	19.21	2.94	9.10	31.25	0.73	11.61	-0.10	298.30	13.61
43年目	H63	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	90.0	0.2003	151.29	27.96	76.45	255.51	-8.35	19.22	2.92	9.10	31.24	0.06	11.60	-0.37	298.09	7.46
44年目	H64	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	90.0	0.1926	151.36	27.68	76.49	255.33	-12.40	19.23	2.90	9.10	31.23	-0.60	11.59	-0.64	297.88	1.31
45年目	H65	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	90.0	0.1852	151.43	27.40	76.53	255.15	-16.45	19.24	2.88	9.10	31.22	-1.27	11.58	-0.89	297.67	-4.84
46年目	H66	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	90.0	0.1780	151.50	27.12	76.57	254.97	-20.50	19.25	2.86	9.10	31.21	-1.94	11.57	-1.18	297.46	-8.99
47年目	H67	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	90.0	0.1712	151.57	26.84	76.61	254.79	-24.55	19.26	2.84	9.10	31.20	-2.61	11.56	-1.47	297.25	-13.14
48年目	H68	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	90.0	0.1646	151.64	26.56	76.65	254.61	-28.60	19.27	2.82	9.10	31.19	-3.28	11.55	-1.76	297.04	-17.29
49年目	H69	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	90.0	0.1583	151.71	26.28	76.69	254.43	-32.65	19.28	2.80	9.10	31.18	-3.95	11.54	-2.05	296.83	-21.44
合計								9,640.84	2,279.61	5,252.84	17,173.30	7,623.81	958.93	133.60	447.78	1,540.31	756.93	643.91	305.48	19,357.52	8,686.22

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(土岐～関)	4	39.0km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				246,738	
	改良費				43,722	
		土工	m ³	13,006,600	28,654	
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	769,000	1,643	
		擁壁工	式	1	2,036	
		管渠工	m	4,330	156	
		函渠工	m	2,140	1,853	
		排水工	m	64,880	1,445	
		中央分離帯工	m	31,290	1,397	
		雑工	式	1	6,538	標識工、防護柵工、道路照明等
	橋梁費				78,374	
		100m以上	m	18,394	73,563	
		100m未満	m	1,121	4,811	
	トンネル費				52,278	
		NATM	m	19,254	52,278	
		シールド	m			
	IC・JCT費				53,001	
		IC	箇所	5	33,092	
		JCT	箇所	2	19,909	
	舗装費				14,971	
		車道舗装	m ²	1,225,800	14,971	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				4,392	
		交通管理施設工	式	1	4,392	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				63,126	
	用地費		m ²	2,684,699	49,796	
		宅地	m ²	101,634	3,180	
		田畑	m ²	598,500	16,888	
		山林・原野	m ²	1,809,334	26,502	
		その他	m ²	175,231	3,226	
	補償費		式	1	13,330	
③	間接経費		式	1	90,136	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				400,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(土岐～関)	4	39.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	39.0	785	H42年度、(清掃・植栽・雪氷・交通管理巡回)
修繕費	式	1	765	H42年度
その他	式			
維持管理費合計			1,550	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(土岐～関)	4	39.0km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				51,498	
	改良費				8,467	
		土工	m ³	2,878,100	4,668	
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ³	332,000	550	
		擁壁工	式	1	957	
		管渠工	m	1,440	35	
		函渠工	m			
		排水工	m	25,120	580	
		中央分離帯工	m	18,210	671	
		雑工	式	1	1,006	標識工、防護柵工、道路照明等
	橋梁費				19,509	
		100m以上	m	8,635	18,659	
		100m未満	m	678	850	
	トンネル費				17,107	
		NATM	m	9,532	17,107	
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,679	
		IC	箇所	2	1,080	
		JCT	箇所	1	599	
	舗装費				3,239	
		車道舗装	m ²	712,000	3,239	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				1,497	
		交通管理施設工	式	1	1,497	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費					
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	31,198	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				82,696	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(土岐～関)	4	39.0km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	39.0	180	H42年度、(清掃・植栽・雪氷・交通管理巡回)
修繕費	式	1	175	H42年度
その他	式			
維持管理費合計			355	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名 ：一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道（関～養老） <small>せき ようろう</small>	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 中部地方整備局 中日本高速道路（株）		
起終点 ：自：岐阜県関市広見 <small>ぎふ せき ひろみ</small> 至：岐阜県養老郡養老町大跡 <small>ぎふ ようろう ようろう おおあと</small>	延長 ：44.2km			
事業概要 ： 一般国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。 本事業の東海環状自動車道（関～養老）は、岐阜県関市広見から岐阜県養老郡養老町大跡に至る延長44.2kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）であり、広域ネットワークの構築、地域経済活性化の支援、地域活性化の支援や災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。				
H6年度事業化	H8年度都市計画決定	H13年度用地着手	H19年度工事着手	
全体事業費	5,100億円	事業進捗率	11%	
計画交通量	23,500台/日	供用済延長	0.0km	
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.3 (残事業) 1.6	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 3,508/4,317 億円 (事業費：3260/4069億円) (維持管理費：248/248億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 5,784/5,784 億円 (走行時間短縮便益：5230/5230億円) (走行経費減少便益：384/384億円) (交通事故減少便益：170/170億円)	基準年 ： 平成23年
感度分析の結果 ：残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=2.0 (交通量+10%) B/C=1.3 (交通量-10%) 事業費：B/C=1.5 (事業費+10%) B/C=1.8 (事業費-10%) 事業期間：B/C=1.6 (事業期間+20%) B/C=1.7 (事業期間-20%)				
事業の効果等 ： ①円滑なモビリティの確保 ・現道の年間渋滞損失時間の削減【現況約531.9万人時間/年、削減率約19.7%】 ・並行区間の旅行速度改善【国道21号瑞穂市等12.5km/h⇒26.5km/h】 ・空港へのアクセス向上【大垣市～中部国際空港 91分⇒86分】 ②物流効率化の支援 ・特定重要港湾へのアクセス向上【大垣市～名古屋港 68分⇒64分、本巣市～名古屋港 96分⇒67分】 ③都市の再生 ・都市再生プロジェクトを支援【都市再生プロジェクト 第2次決定 平成13年8月28日】 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成【東海環状自動車道（名古屋大都市圏）】 ④国土・地域ネットワークの構築 ・新たな拠点都市間を高規格幹線道路で連絡【関市、岐阜市、大垣市】 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡【岐阜市、大垣市、関市、美濃市、本巣市、山県市】 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上【関市～大垣市 15分短縮】 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援【関テクノハイランド、ロボット先端医療クラスター】 ・主要観光地へのアクセス向上【モレラ岐阜60分圏域の拡大 圏域人口193万人⇒414万人、高速道路ICからの15分圏域内の観光施設の増加 80施設⇒97施設、観光入込客数2,942万人⇒3,171万人】 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上【県立岐阜病院、岐阜大学医学部附属病院、大垣市民病院 揖斐川町～岐阜大学医学部附属病院 27分⇒25分】 ⑦安全な生活環境の確保 ・死傷事故率500件/億台キロ以上の区間の安全性向上【国道21号（藪田交差点付近） 8箇所】 ⑧災害への備え ・緊急輸送道路としての位置づけ【名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想】				

・緊急輸送道路の代替路線を形成【名神高速大垣IC～一宮JCT、東海北陸道一宮JCT～美濃関JCT】

⑨地球環境の保全

・CO2排出量削減【並行区間 14,157t-CO2削減】

⑩生活環境の改善・保全

- ・NO2排出量削減【並行区間 54.4t削減 7.9%削減】
- ・SPM排出量削減【並行区間 5.12t削減 7.8%削減】
- ・騒音レベル夜間要請限度の改善【並行区間 5箇所、16.9km】

関係する地方公共団体等の意見

東海環状自動車道（関～養老）は、地域の産業・経済活性化に重要な役割を果たすことが期待されており、岐阜市・大垣市をはじめとする8市5町の首長で構成される東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会より建設促進の要望を受けている。

県知事の意見

対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。
事業実施にあたっては、養老JCT（仮称）～大垣西IC（仮称）間の平成24年9月から開催する「ぎふ清流国体」までの開通、その他区間の早期完成をお願いします。また、早期に効果が発現されるようジャンクションから順に段階的な供用を図るとともに、コスト縮減の徹底を要請します。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

H22年度末現在、新名神高速道路と東海北陸自動車道が供用し、北陸・近畿とのアクセス性が向上した。H30年度までに新名神高速道路・新東名高速道路の供用により東西軸の強化が見込まれ、南北軸は東海環状自動車道の整備が必要である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は11%、用地取得率は37%。（平成22年度末）
- ・大垣西IC（仮称）～養老JCT（仮称）は工事推進中。
- ・関広見IC～大垣西IC（仮称）は用地・工事推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・大垣西IC（仮称）～養老JCT（仮称）（L=5.7km）は、平成24年度の暫定2車線供用を予定。
- ・関広見IC（仮称）～養老IC（仮称）（L=38.5km）は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・IC構造等の一部を高架から盛土等へ変更することにより、約60億円のコスト縮減。
- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

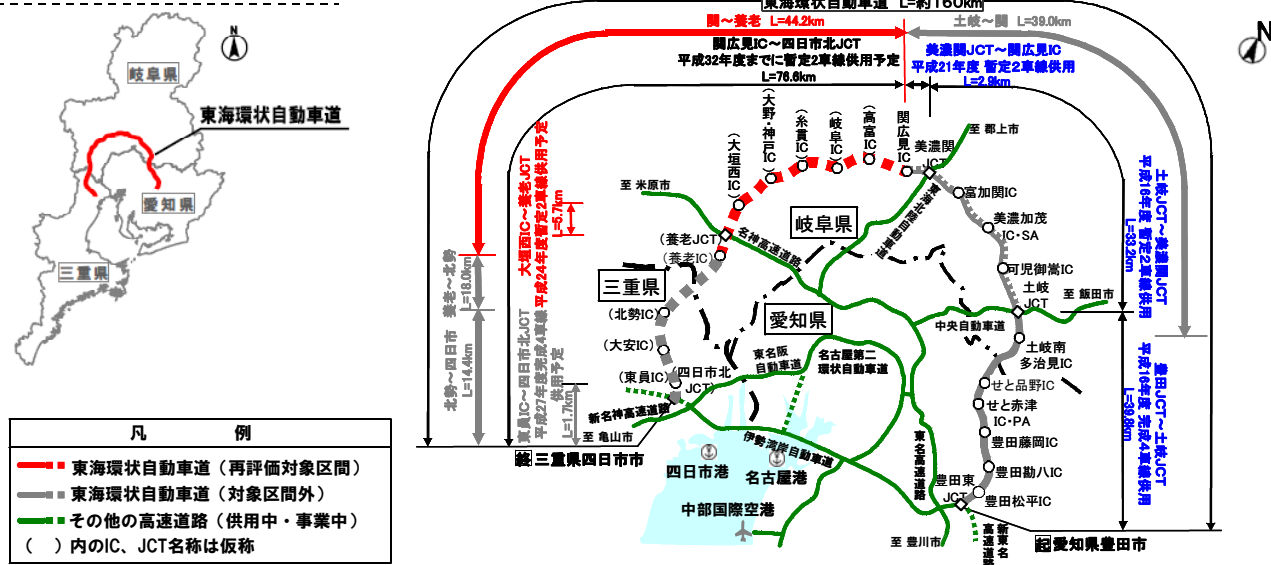
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道475号 東海環状自動車道(関~養老)
事業主体	中部地方整備局 中日本高速道路(株)

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チャエックの根拠
事業の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 便益が費用を上回っている 	全体:費用便益比(B/C) = 1.3 経済的純現在価値(B-C) = 1,467億円 経済的内部収益率(EIRR) = 5.4% 集事業:費用便益比(B/C) = 1.6 経済的純現在価値(B-C) = 2,277億円 経済的内部収益率(EIRR) = 6.8%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チャエックの根拠
1. 活力 円滑なモバイルの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 ■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の路切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISD規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(整備なし): 88,214.4万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 1,299.2万人・時間/年 (88,214.4万人・時間/年⇒86,915.2万人・時間/年) 区間b(並行区間)について: 国道21号、国道156号、国道258号 並行区間の渋滞損失削減率: 531.9万人・時間/年(国道21号、国道156号、国道258号) 並行区間の渋滞損失削減率: 19.7%削減(国道21号、国道156号、国道258号) 対象区間(瑞穂市国道21号)等、改善見込み(旅行速度12.5km/h⇒26.5km/h)
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 	対象空港(中部国際空港)、対象自治体名(岐阜市、大垣市、関市、本巣市) 改善見込み(大垣市~中部国際空港、91分⇒86分 等) 対象港湾(名古屋港、四日市港)、対象自治体名(岐阜市、大垣市、関市、本巣市) 改善見込み(大垣市~名古屋港、68分⇒64分 本巣市~名古屋港、96分⇒67分 等)
1. 活力 都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する □ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり □ 中心市街地内で行う事業である □ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である 	都市再生プロジェクト(第2次決定、平成13年8月28日) 東海環状自動車道(名古屋大新市圏)

	<input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が図込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新橋整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街シンボリック的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である <input type="checkbox"/> 当該区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通ハリアリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通ハリアリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにハリアリー法に適用される <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が図込まれる	<p>対象となる拠点都市(関市、岐阜市、大垣市)</p> <p>対象となる日常活動圏中心都市(岐阜市、大垣市、関市、美濃市、本巣市、山県市)</p> <p>改善見込み(関市⇄大垣市、60分⇒45分等)</p> <p>関テクノハイランド ・ロボット先端医療クラスター</p> <p>岐阜フアミリーパーク(52万人:H21実績) ・道の駅「織部の里」(44万人:H21実績) ・モレラ岐阜の60分圏域の拡大(圏域人口193万人⇒414万人) ・高速道路ICからの15分圏域内の観光施設増加(施設数80施設⇒97施設、観光入込客数2,942万人⇒3,171万人)</p>
国土・地域ネットワークの構築		
個性ある地域の形成		
2. 暮らし	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車のための生活空間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい街並みの形成	
3. 安全	<input type="checkbox"/> 安全で安心できる暮らしの確保 <input type="checkbox"/> 安全な生活環境の確保 <input type="checkbox"/> 災害への備え	<p>対象となる三次医療施設(県立岐阜病院、岐阜大学医学部付属病院、大垣市長病院) 岐阜川町から岐阜大学医学部付属病院までの所要時間(27分⇒25分) 岐阜大学医学部付属病院の60分カバー圏域の拡大(圏域人口191万人⇒327万人)</p> <p>死傷事故率が500件/億超/億超以上である区間での安全性向上が期待される箇所数(8箇所、国道21号【岐阜交差点付近】等)</p> <p>名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想</p>

4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	<p>代替する緊急輸送道路路線名、代替する区間【名神高速（大垣IC～一宮JCT）、東海北陸自動車道（美濃関JCT～一宮JCT）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは禁書の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす <input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <ul style="list-style-type: none"> 評価対象区間（並行区間）：国道21号、国道156号、国道258号 CO2排出削減量：14,157 t -CO2/年 (205,694 t -CO2/年⇒191,537 t -CO2/年) <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <ul style="list-style-type: none"> (現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：対象路線周辺では岐阜南部、岐阜北部、羽島、大垣中央、大垣南（推針峠里） 評価対象区間（並行区間）：国道21号、国道156号、国道258号 排出削減量：54.4t/年、排出削減率：7.9%削減 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <ul style="list-style-type: none"> (現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績：対象路線周辺では岐阜南部、岐阜北部、羽島、大垣中央、大垣南（推針峠里） 評価対象区間（並行区間）：国道21号、国道156号、国道258号 排出削減量：5.12t/年、排出削減率：7.8%削減
5. その他	他のアジェンダとの関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される <input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる <p>事業実施前の並行区間、現道等における夜間要請限度超過の状況（71～75dB、10箇所、26.5km）、改善の具込（新たに要請限度を達成することとなる箇所・延長：5箇所、16.9km）、環境基準類型指定地域又は騒音規制区域の指定あり</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道475号	東海環状自動車道 (関～養老)	L = 44.2 km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
23,500	4	中部地方整備局 中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	4,920億円	881億円	5,801億円
うち残事業分	4,164億円	881億円	5,045億円
基準年における 現在価値(C)	4,069億円	248億円	4,317億円
うち残事業分	3,260億円	248億円	3,508億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	280億円	30億円	10億円	320億円
基準年における 現在価値(B)	5,230億円	384億円	170億円	5,784億円
うち残事業分	5,230億円	384億円	170億円	5,784億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	1,467億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.4%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	2,277億円
経済的内部収益率（残事業）	6.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	23,500台/日	±10%	1.3~2.0
事業費	4,164億円	±10%	1.5~1.8
事業期間	17年	±20%	1.6~1.7

交通状況の変化

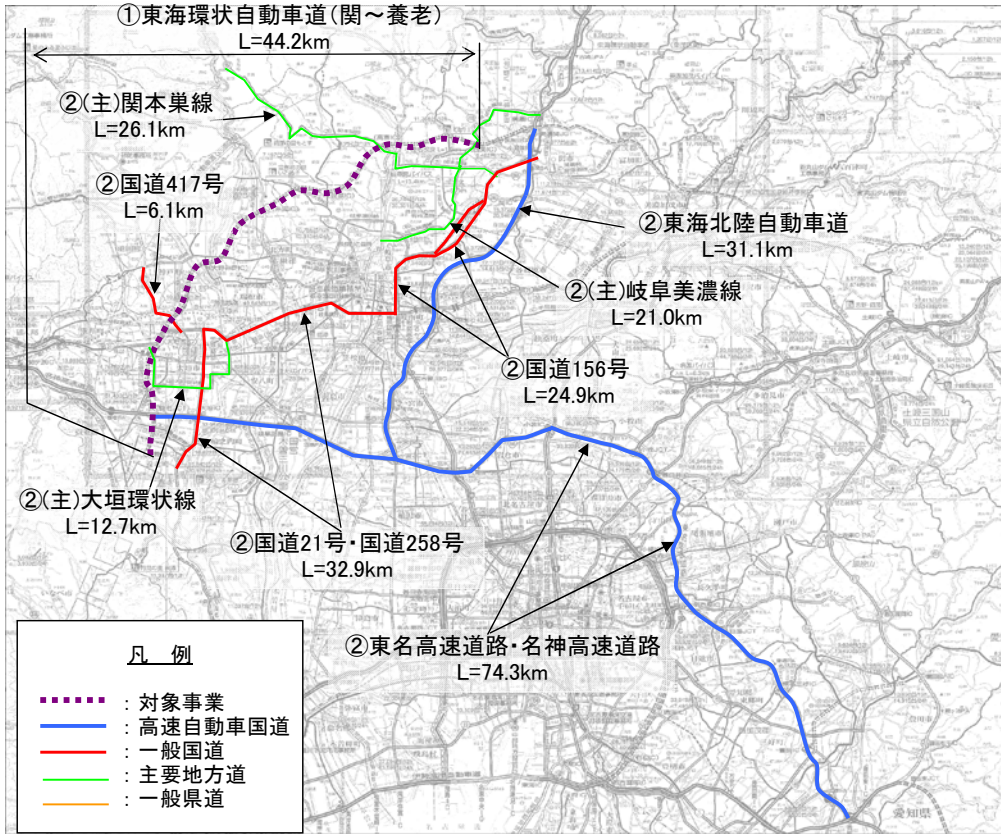
事業名：東海環状自動車道（関～養老）（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [東海環状自動車道 (関～養老)] : 44.2km	交通量※1	[台/日]	-	23,500	
	走行時間※2	[分]	-	29	
	走行時間費用※3	[億円/年]	-	124.37	
②主な周辺道路※4	東海北陸 自動車道 : 31.1km	交通量	[台/日]	37,200	30,200
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	194.77	151.32
	東名高 速・名神 高速 : 74.3km	交通量	[台/日]	60,100	58,500
		走行時間	[分]	60	59
		走行時間費用	[億円/年]	681.99	655.65
	国道21号 ～258号 : 32.9km	交通量	[台/日]	44,800	42,100
		走行時間	[分]	62	60
		走行時間費用	[億円/年]	489.72	446.36
	主) 岐阜 美濃線 : 21.0km	交通量	[台/日]	11,600	10,600
		走行時間	[分]	45	42
		走行時間費用	[億円/年]	92.21	78.66
	主) 関本 果線 : 26.1km	交通量	[台/日]	8,900	7,100
		走行時間	[分]	52	49
		走行時間費用	[億円/年]	85.29	63.52
	国道417 号 : 6.1km	交通量	[台/日]	17,100	13,000
		走行時間	[分]	19	15
		走行時間費用	[億円/年]	57.36	36.21
	(主) 大垣 環状線 : 12.7km	交通量	[台/日]	18,700	16,300
		走行時間	[分]	33	32
		走行時間費用	[億円/年]	112.11	94.54
国道156 号 : 24.9km	交通量	[台/日]	31,400	29,800	
	走行時間	[分]	46	45	
	走行時間費用	[億円/年]	241.37	222.67	
③その他道路合計 : 15,043.3km	走行時間費用	[億円/年]	60,344.12	60,017.19	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 15,316.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	62,298.94	61,890.50	408.44

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：東海環状自動車道（関～養老）

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (平成42年) 複数時点での推計 <input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計 <input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ推計の場合 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) <input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) <input type="checkbox"/>
		その他() <input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無 <input checked="" type="checkbox"/>
		有 <input type="checkbox"/>
		有の場合のみ <input type="checkbox"/> 考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 <input type="checkbox"/> 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分 <input type="checkbox"/>
転換率式を用いた配分 <input type="checkbox"/>		
Q-V式と転換率式の併用による配分 <input checked="" type="checkbox"/>		
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) <input type="checkbox"/>		
簡易手法 <input type="checkbox"/>		
簡易手法の採択理由 <input type="checkbox"/> 小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等) <input type="checkbox"/>		
その他() <input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 <input checked="" type="checkbox"/> 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 <input type="checkbox"/> 採用理由を記載	
	その他() <input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名: 東海環状自動車道(関～養老)

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		中日本高速道路(株)の維持管理計画を踏まえた単価を使用	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（関～養老）（事業全体）				単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）	
				0.40	44.2	17.57	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-27年目	H6	1.9479	103.6	1.98	3.35		
-26年目	H7	1.8730	103.0	2.12	3.47		
-25年目	H8	1.8009	102.4	2.70	4.27		
-24年目	H9	1.7317	103.4	2.10	3.17		
-23年目	H10	1.6651	102.8	2.00	2.92		
-22年目	H11	1.6010	101.3	2.00	2.84		
-21年目	H12	1.5395	99.7	4.00	5.56		
-20年目	H13	1.4802	98.4	2.00	2.71		
-19年目	H14	1.4233	96.6	11.00	14.59		
-18年目	H15	1.3686	95.4	5.80	7.49		
-17年目	H16	1.3159	94.4	8.45	10.60		
-16年目	H17	1.2653	93.2	44.69	54.60		
-15年目	H18	1.2167	92.5	39.14	46.34		
-14年目	H19	1.1699	91.7	68.39	78.52		
-13年目	H20	1.1249	91.2	77.09	85.58		
-12年目	H21	1.0816	90.0	130.71	141.37		
-11年目	H22	1.0400	90.0	146.45	152.30		
基準年	H23	1.0000	90.0	205.04	205.04		
-9年目	H24	0.9615	90.0	249.70	240.08		
-8年目	H25	0.9246	90.0	258.13	238.66		
-7年目	H26	0.8890	90.0	337.83	300.33		
-6年目	H27	0.8548	90.0	470.07	401.81		
-5年目	H28	0.8219	90.0	565.65	464.90		
-4年目	H29	0.7903	90.0	657.36	519.51		
-3年目	H30	0.7599	90.0	587.53	446.46		
-2年目	H31	0.7307	90.0	368.80	269.48		
-1年目	H32	0.7026	90.0	61.01	42.86		
供用開始年次	H33	0.6756	90.0	52.43	35.42	11.62	7.85
1年目	H34	0.6496	90.0	76.26	49.54	11.68	7.58
2年目	H35	0.6246	90.0	85.80	53.59	11.78	7.36
3年目	H36	0.6006	90.0	90.56	54.39	11.96	7.18
4年目	H37	0.5775	90.0	100.10	57.81	12.26	7.08
5年目	H38	0.5553	90.0	90.56	50.29	12.40	6.89
6年目	H39	0.5339	90.0	66.73	35.63	12.60	6.73
7年目	H40	0.5134	90.0	45.36	23.29	12.78	6.56
8年目	H41	0.4936	90.0			16.63	8.21
9年目	H42	0.4746	90.0			16.73	7.94
10年目	H43	0.4564	90.0			16.96	7.74
11年目	H44	0.4388	90.0			17.15	7.53
12年目	H45	0.4220	90.0			17.38	7.34
13年目	H46	0.4057	90.0			17.55	7.12
14年目	H47	0.3901	90.0			17.68	6.90
15年目	H48	0.3751	90.0			17.85	6.69
16年目	H49	0.3607	90.0			17.98	6.48
17年目	H50	0.3468	90.0			18.14	6.29
18年目	H51	0.3335	90.0			18.33	6.11
19年目	H52	0.3207	90.0			18.52	5.94
20年目	H53	0.3083	90.0			18.72	5.77
21年目	H54	0.2965	90.0			18.83	5.58
22年目	H55	0.2851	90.0			18.96	5.41
23年目	H56	0.2741	90.0			19.12	5.24
24年目	H57	0.2636	90.0			19.29	5.09
25年目	H58	0.2534	90.0			19.50	4.94
26年目	H59	0.2437	90.0			19.43	4.73
27年目	H60	0.2343	90.0			19.35	4.53

28年目	H61	0.2253	90.0			19.24	4.33
29年目	H62	0.2166	90.0			21.78	4.72
30年目	H63	0.2083	90.0			19.45	4.05
31年目	H64	0.2003	90.0			19.39	3.88
32年目	H65	0.1926	90.0			19.34	3.73
33年目	H66	0.1852	90.0			19.29	3.57
34年目	H67	0.1780	90.0			19.24	3.42
35年目	H68	0.1712	90.0			19.19	3.29
36年目	H69	0.1646	90.0			19.13	3.15
37年目	H70	0.1583	90.0			19.09	3.02
38年目	H71	0.1522	90.0			19.03	2.90
39年目	H72	0.1463	90.0			18.98	2.78
40年目	H73	0.1407	90.0			18.91	2.66
41年目	H74	0.1353	90.0			18.87	2.55
42年目	H75	0.1301	90.0			18.81	2.45
43年目	H76	0.1251	90.0			18.77	2.35
44年目	H77	0.1203	90.0			18.71	2.25
45年目	H78	0.1157	90.0			18.65	2.16
46年目	H79	0.1112	90.0			18.60	2.07
47年目	H80	0.1069	90.0			18.55	1.98
48年目	H81	0.1028	90.0			18.50	1.90
49年目	H82	0.0989	90.0	-403.69	-39.92	18.44	1.82
合計				4,515.84	4,068.85	881.15	247.84
単純事業費計				4,919.53		881.15	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（関～養老）（残事業）				単価（億円）	延長（km）	単純価値（億円）	
				0.40	44.2	17.57	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-27年目	H6	1.9479	103.6				
-26年目	H7	1.8730	103.0				
-25年目	H8	1.8009	102.4				
-24年目	H9	1.7317	103.4				
-23年目	H10	1.6651	102.8				
-22年目	H11	1.6010	101.3				
-21年目	H12	1.5395	99.7				
-20年目	H13	1.4802	98.4				
-19年目	H14	1.4233	96.6				
-18年目	H15	1.3686	95.4				
-17年目	H16	1.3159	94.4				
-16年目	H17	1.2653	93.2				
-15年目	H18	1.2167	92.5				
-14年目	H19	1.1699	91.7				
-13年目	H20	1.1249	91.2				
-12年目	H21	1.0816	90.0				
-11年目	H22	1.0400	90.0				
基準年	H23	1.0000	90.0				
-9年目	H24	0.9615	90.0	249.70	240.08		
-8年目	H25	0.9246	90.0	258.13	238.66		
-7年目	H26	0.8890	90.0	337.83	300.33		
-6年目	H27	0.8548	90.0	470.07	401.81		
-5年目	H28	0.8219	90.0	565.65	464.90		
-4年目	H29	0.7903	90.0	657.36	519.51		
-3年目	H30	0.7599	90.0	587.53	446.46		
-2年目	H31	0.7307	90.0	368.80	269.48		
-1年目	H32	0.7026	90.0	61.01	42.86		
供用開始年次	H33	0.6756	90.0	52.43	35.42	11.62	7.85
1年目	H34	0.6496	90.0	76.26	49.54	11.68	7.58
2年目	H35	0.6246	90.0	85.80	53.59	11.78	7.36
3年目	H36	0.6006	90.0	90.56	54.39	11.96	7.18
4年目	H37	0.5775	90.0	100.10	57.81	12.26	7.08
5年目	H38	0.5553	90.0	90.56	50.29	12.40	6.89
6年目	H39	0.5339	90.0	66.73	35.63	12.60	6.73
7年目	H40	0.5134	90.0	45.36	23.29	12.78	6.56
8年目	H41	0.4936	90.0			16.63	8.21
9年目	H42	0.4746	90.0			16.73	7.94
10年目	H43	0.4564	90.0			16.96	7.74
11年目	H44	0.4388	90.0			17.15	7.53
12年目	H45	0.4220	90.0			17.38	7.34
13年目	H46	0.4057	90.0			17.55	7.12
14年目	H47	0.3901	90.0			17.68	6.90
15年目	H48	0.3751	90.0			17.85	6.69
16年目	H49	0.3607	90.0			17.98	6.48
17年目	H50	0.3468	90.0			18.14	6.29
18年目	H51	0.3335	90.0			18.33	6.11
19年目	H52	0.3207	90.0			18.52	5.94
20年目	H53	0.3083	90.0			18.72	5.77
21年目	H54	0.2965	90.0			18.83	5.58
22年目	H55	0.2851	90.0			18.96	5.41
23年目	H56	0.2741	90.0			19.12	5.24
24年目	H57	0.2636	90.0			19.29	5.09
25年目	H58	0.2534	90.0			19.50	4.94
26年目	H59	0.2437	90.0			19.43	4.73
27年目	H60	0.2343	90.0			19.35	4.53

28年目	H61	0.2253	90.0			19.24	4.33
29年目	H62	0.2166	90.0			21.78	4.72
30年目	H63	0.2083	90.0			19.45	4.05
31年目	H64	0.2003	90.0			19.39	3.88
32年目	H65	0.1926	90.0			19.34	3.73
33年目	H66	0.1852	90.0			19.29	3.57
34年目	H67	0.1780	90.0			19.24	3.42
35年目	H68	0.1712	90.0			19.19	3.29
36年目	H69	0.1646	90.0			19.13	3.15
37年目	H70	0.1583	90.0			19.09	3.02
38年目	H71	0.1522	90.0			19.03	2.90
39年目	H72	0.1463	90.0			18.98	2.78
40年目	H73	0.1407	90.0			18.91	2.66
41年目	H74	0.1353	90.0			18.87	2.55
42年目	H75	0.1301	90.0			18.81	2.45
43年目	H76	0.1251	90.0			18.77	2.35
44年目	H77	0.1203	90.0			18.71	2.25
45年目	H78	0.1157	90.0			18.65	2.16
46年目	H79	0.1112	90.0			18.60	2.07
47年目	H80	0.1069	90.0			18.55	1.98
48年目	H81	0.1028	90.0			18.50	1.90
49年目	H82	0.0989	90.0	-246.53	-24.38	18.44	1.82
合計				3,917.35	3,259.67	881.15	247.84
単純事業費計				4,163.88		881.15	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：東海環状自動車道（関～養老）（事業全体・残事業）

年次	年度 (基業年)	総走行台数の年次別伸び率 (東海)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合計 (億円)		
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	現在価値 (3)×(A)		現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H23																				
1年目	H33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.6756	90.0	183.52	37.12	59.06	279.71	188.97	19.72	2.57	7.63	29.92	20.21	10.26	6.93	319.89	216.11
2年目	H34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.6496	90.0	183.61	36.82	59.10	279.53	181.58	19.73	2.55	7.64	29.91	19.43	10.26	6.66	319.70	207.67
3年目	H35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.6246	90.0	183.70	36.51	59.14	279.35	174.48	19.74	2.52	7.64	29.91	18.68	10.25	6.40	319.50	199.56
4年目	H36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6006	90.0	183.79	36.21	59.17	279.17	167.67	19.75	2.50	7.65	29.90	17.96	10.24	6.15	319.31	191.78
5年目	H37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.5775	90.0	183.88	35.90	59.21	278.99	161.12	19.76	2.48	7.65	29.89	17.26	10.23	5.91	319.11	184.29
6年目	H38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.5539	90.0	183.97	35.60	59.24	278.81	154.83	19.77	2.46	7.66	29.89	16.60	10.22	5.68	318.92	177.11
7年目	H39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.5339	90.0	184.06	35.30	59.28	278.64	148.76	19.78	2.44	7.66	29.88	15.95	10.21	5.45	318.73	170.16
8年目	H40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5134	90.0	184.15	34.99	59.31	278.46	142.96	19.79	2.42	7.66	29.87	15.34	10.20	5.24	318.53	163.54
9年目	H41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.4936	90.0	270.97	50.59	87.14	408.70	201.73	21.32	1.65	2.86	25.83	12.75	12.77	6.30	447.30	220.78
10年目	H42	0.99222	0.99373	1.00221	0.99404	0.4564	90.0	268.99	49.83	87.19	408.44	193.85	21.33	1.64	2.86	25.83	12.26	12.65	6.05	444.55	202.90
11年目	H43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.4388	90.0	266.89	49.52	87.58	403.98	177.27	21.00	1.62	2.87	25.49	11.18	12.60	5.53	442.08	193.98
12年目	H44	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4220	90.0	264.78	49.21	87.77	401.76	169.54	20.83	1.61	2.88	25.32	10.68	12.53	5.29	439.60	185.51
13年目	H45	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4057	90.0	262.67	48.89	87.97	399.53	162.09	20.67	1.60	2.89	25.15	10.20	12.45	5.05	437.13	177.34
14年目	H46	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.3901	90.0	260.56	48.58	88.16	397.30	154.99	20.50	1.59	2.89	24.98	9.74	12.38	4.83	434.65	169.56
15年目	H47	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.3751	90.0	258.45	48.27	88.35	395.07	148.19	20.33	1.58	2.90	24.81	9.31	12.30	4.61	432.18	162.11
16年目	H48	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.3607	90.0	256.34	47.96	88.54	392.84	141.70	20.17	1.57	2.91	24.64	8.89	12.23	4.41	429.71	155.00
17年目	H49	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3468	90.0	254.23	47.64	88.74	390.61	135.46	20.00	1.56	2.92	24.47	8.49	12.15	4.21	427.23	148.16
18年目	H50	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3335	90.0	252.12	47.33	88.93	388.38	129.53	19.84	1.54	2.92	24.30	8.10	12.07	4.03	424.76	141.66
19年目	H51	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3205	90.0	250.01	47.02	89.12	386.15	123.84	19.67	1.53	2.92	24.13	7.74	12.00	3.85	422.28	135.43
20年目	H52	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3083	90.0	247.90	46.71	89.32	383.92	118.36	19.50	1.52	2.93	23.96	7.39	11.92	3.68	419.81	129.43
21年目	H53	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.2965	90.0	245.79	46.40	89.51	381.70	113.17	19.34	1.51	2.94	23.79	7.05	11.85	3.51	417.33	123.73
22年目	H54	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.2851	90.0	243.68	46.08	89.70	379.47	108.19	19.17	1.50	2.94	23.62	6.73	11.77	3.36	414.86	118.28
23年目	H55	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.2741	90.0	241.57	45.77	89.89	377.24	103.40	19.01	1.49	2.95	23.45	6.43	11.70	3.21	412.36	113.04
24年目	H56	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2636	90.0	239.46	45.46	90.09	375.01	98.85	18.84	1.48	2.96	23.28	6.14	11.62	3.06	409.91	108.05
25年目	H57	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2534	90.0	237.35	45.15	90.28	372.78	94.46	18.67	1.47	2.96	23.11	5.86	11.55	2.93	407.44	103.25
26年目	H58	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2437	90.0	235.24	44.83	90.47	370.55	90.30	18.51	1.46	2.97	22.94	5.59	11.49	2.80	404.96	98.69
27年目	H59	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2343	90.0	233.13	44.52	90.67	368.32	86.30	18.34	1.45	2.98	22.77	5.34	11.39	2.67	402.49	94.31
28年目	H60	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2253	90.0	231.02	44.21	90.86	366.09	82.48	18.18	1.44	2.98	22.60	5.09	11.32	2.55	400.01	90.12
29年目	H61	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2166	90.0	228.91	43.90	91.05	363.86	78.81	18.01	1.43	2.99	22.43	4.86	11.24	2.44	397.54	86.11
30年目	H62	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2083	90.0	226.81	43.59	91.25	361.64	75.33	17.84	1.42	2.99	22.26	4.64	11.17	2.33	395.07	82.30
31年目	H63	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2003	90.0	224.71	43.28	91.44	359.42	71.99	17.68	1.41	3.00	22.09	4.42	11.09	2.22	392.60	78.63
32年目	H64	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.1926	90.0	222.61	42.96	91.63	357.20	68.80	17.51	1.40	3.01	21.92	4.22	11.02	2.12	390.14	75.14
33年目	H65	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.1852	90.0	220.51	42.65	91.82	354.99	65.74	17.35	1.39	3.01	21.75	4.03	10.94	2.03	387.69	71.80
34年目	H66	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.1780	90.0	218.42	42.34	92.02	352.78	62.80	17.18	1.38	3.02	21.59	3.84	10.87	1.93	385.24	68.57
35年目	H67	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1710	90.0	216.34	42.03	92.21	350.58	60.02	17.02	1.37	3.03	21.42	3.67	10.79	1.85	382.79	65.54
36年目	H68	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1648	90.0	214.26	41.72	92.40	348.39	57.34	16.86	1.36	3.03	21.25	3.50	10.72	1.76	380.36	62.60
37年目	H69	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1583	90.0	212.19	41.42	92.59	346.20	54.80	16.69	1.35	3.04	21.08	3.34	10.64	1.68	377.92	59.82
38年目	H70	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1522	90.0	210.12	41.11	92.79	344.01	52.36	16.53	1.34	3.04	20.92	3.18	10.57	1.61	375.50	57.15
39年目	H71	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1463	90.0	208.05	40.80	92.98	341.84	50.01	16.37	1.33	3.05	20.75	3.04	10.49	1.54	373.08	54.59
40年目	H72	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1407	90.0	206.00	40.49	93.17	339.66	47.79	16.21	1.32	3.06	20.59	2.90	10.42	1.47	370.67	52.16
41年目	H73	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1353	90.0	203.94	40.19	93.37	337.50	45.66	16.05	1.31	3.06	20.42	2.76	10.35	1.40	368.27	49.82
42年目	H74	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1301	90.0	201.90	39.88	93.56	335.34	43.63	15.88	1.30	3.07	20.26	2.64	10.27	1.34	365.87	47.61
43年目	H75	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1251	90.0	199.86	39.58	93.75	333.19	41.68	15.72	1.29	3.08	20.09	2.51	10.20	1.28	363.48	45.47
44年目	H76	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1203	90.0	197.83	39.27	93.95	331.05	39.83	15.56	1.28	3.08	19.93	2.40	10.12	1.22	361.10	43.45
45年目	H77	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1157	90.0	195.81	38.97	94.14	328.91	38.06	15.40	1.27	3.09	19.77	2.29	10.05	1.16	358.73	41.51
46年目	H78	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1112	90.0	193.79	38.67	94.33	326.79	36.34	15.25	1.26	3.10	19.60	2.18	9.98	1.11	356.37	39.63
47年目	H79	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1069	90.0	191.78	38.36	94.53	324.67	34.71	15.09	1.25	3.10	19.44	2.08	9.90	1.06	354.01	37.85
48年目	H80	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1028	90.0	189.78	38.06	94.72	322.56	33.16	14.93	1.24	3.11						

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(関～養老)	4	44.2km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				369,222	
	改良費				36,175	
		土工	m ³	1,094,766	2,931	
		軟弱地盤改良工	m ³	14,584	55	
		法面工	m ²	64,184	79	
		擁壁工	式	1	435	
		管渠工	m	276	43	
		函渠工	m	212	270	
		埋蔵文化財調査	式	1	5,368	
		排水工	m	5,566	629	
		中央分離帯工	m	2,170	146	
		雑工	式	1	26,219	
	橋梁費				188,259	
		100m以上	m	24,922	187,470	
		100m未満	m	107	789	
	トンネル費				58,422	
		NATM	m	10,183	58,422	
		シールド	m			
	IC・JCT費				78,048	
		IC	箇所	7	65,310	
		JCT	箇所	1	12,738	
	舗装費				7,936	
		車道舗装	m ²	845,376	7,936	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				382	
		交通管理施設工	式	1	382	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				50,130	
	用地費		m ²	1,470,090	40,369	
		宅地	m ²	178,000	12,460	
		田畑	m ²	1,164,000	27,764	
		山林・原野	m ²	145,000	145	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	9,761	
③	間接経費		式	1	90,648	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				510,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(関～養老)	4	44.2km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				328,896	
	改良費				33,142	
		土工	m ³	1,094,766	2,931	
		軟弱地盤改良工	m ³	14,584	55	
		法面工	m ²	64,184	79	
		擁壁工	式	1	435	
		管渠工	m	276	43	
		函渠工	m	212	270	
		埋蔵文化財調査	式	1	4,277	
		排水工	m	5,566	629	
		中央分離帯工	m	2,170	146	
		雑工	式	1	24,277	標識工、防護柵工、道路照明等
	橋梁費				158,879	
		100m以上	m	21,016	158,090	
		100m未満	m	107	789	
	トンネル費				58,422	
		NATM	m	10,183	58,422	
		シールド	m			
	IC・JCT費				70,180	
		IC	箇所	7	64,210	
		JCT	箇所	1	5,970	
	舗装費				7,891	
		車道舗装	m ²	840,582	7,891	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				382	
		交通管理施設工	式	1	382	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				28,991	
	用地費		m ²	908,093	24,653	
		宅地	m ²	108,707	7,610	
		田畑	m ²	710,832	16,955	
		山林・原野	m ²	88,554	89	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	4,338	
③	間接経費		式	1	74,369	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				432,256	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道(関～養老)	4	44.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	44.2	795	H42年度、(清掃・植栽・雪氷・交通管理巡回)
修繕費	式	1	962	H42年度
その他	式			
維持管理費合計			1,757	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出する

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道475号 東海環状自動車道（養老～北勢）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局 中日本高速道路(株)
起終点	自：岐阜県養老郡養老町大跡 至：三重県いなべ市北勢町阿下喜	延長	18.0km		
事業概要 一般国道475号東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て、三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。 本事業の東海環状自動車道（養老～北勢）は、岐阜県養老郡養老町大跡から三重県いなべ市北勢町阿下喜に至る延長18.0kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）であり、広域ネットワークの構築、地域経済活性化の支援、地域活性化の支援や災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。					
H10年度事業化（着工準備）	H19年度都市計画決定	用地未着手	工事未着手		
全体事業費	1,500億円	事業進捗率	1%	供用済延長	0.0km
計画交通量	14,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,114/1,141億円 事業費：1,026/1,054億円 維持管理費：87/87億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,880/1,880億円 走行時間短縮便益：1,692/1,692億円 走行経費減少便益：129/129億円 交通事故減少便益：59/59億円	基準年 平成23年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=1.9（交通量+10%） B/C=1.5（交通量-10%） 事業費：B/C=1.5（事業費+10%） B/C=1.9（事業費-10%） 事業期間：B/C=1.6（事業期間+20%） B/C=1.8（事業期間-20%）					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道の年間渋滞損失時間の削減【162万人時間/年⇒121万人時間/年、削減率約3割】 ・第一種空港：中部国際空港へのアクセス向上【大垣市～中部国際空港：125分→82分】 ②物流効率化の支援 ・名古屋港へのアクセス向上【大垣市～名古屋港：112分→55分】 ・四日市港へのアクセス向上【大垣市～四日市港：88分→66分】 ③都市の再生 ・都市再生プロジェクトを支援【都市再生プロジェクト 第2次決定 平成13年8月28日】 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成【東海環状自動車道（名古屋大都市圏）】 ④国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成【地方生活圏中心都市を連絡（四日市市⇄大垣市：100分→55分）】 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成【二次生活圏中心都市を最短時間で連絡（桑名市⇄大垣市：66分→47分）】 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援【バレー構想を支援（三重県における産業政策）】 ・主要な観光地へのアクセス向上が期待【ナガシマリゾート（H22年入込客数：6,778千人）、多度大社（H22年入込客数：1,340千人）】 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上【三次救急医療施設：四日市市立四日市病院→高度救命救急センター：岐阜大学医学部附属病院（134分→108分）】 ⑦災害への備え ・緊急輸送道路としての位置づけ【名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想】					

- ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成
【緊急輸送道路：東名阪自動車道，国道258号】
- ・現道等の冬期交通障害区間を解消 【(主)南濃北勢線の代替路を形成】

⑧地球環境の保全

- ・CO2排出量削減【沿道地域 6,603t/年削減】

⑨生活環境の改善・保全

- ・NO2排出量削減【並行区間 80.2t/年削減】
- ・SPM排出量削減【並行区間 7.75t/年削減】

関係する地方公共団体等の意見

東海環状自動車道(養老～北勢)は、地域の産業・経済活性化に重要な役割を果たすことが期待されており、いなべ市・東員町をはじめとする3市1町の首長で構成される東海環状自動車道三重県区間建設促進期成同盟会より建設促進の要望を受けている。

県知事の見解

岐阜県知事からの意見：

対応方針(原案)案のとおり、事業の継続について異存ありません。

事業実施にあたっては、養老JCT(仮称)～大垣西IC(仮称)間の平成24年9月から開催する「ぎふ清流国体」までの開通、その他区間の早期完成をお願いします。また、早期に効果が発現されるようジャンクションから順に段階的な供用を図るとともに、コスト縮減の徹底を要請します。

三重県知事からの意見：

本事業は、中部圏の広域ネットワークを構築することで、地域経済活動の活性化や交通渋滞の緩和、さらにはりダンダンシーの確保による災害に強い道路機能の確保を図るための重要な事業です。

今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、早期全線完成に向けた事業の確実な推進をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・名神高速道路大垣IC周辺では交通渋滞が発生。
- ・東海環状自動車道豊田東JCT～美濃関JCT供用後、沿線地域の工業団地立地件数が増加。
- ・新名神高速道路の供用後、沿線地域において観光入込客数が増加。
- ・岐阜県と三重県を結ぶ第1次緊急輸送道路は一般道1ルートのみで代替路が未確保。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は1%、用地取得率は0%(平成22年度末)。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・養老IC(仮称)～北勢IC(仮称)(L=18.0km)は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

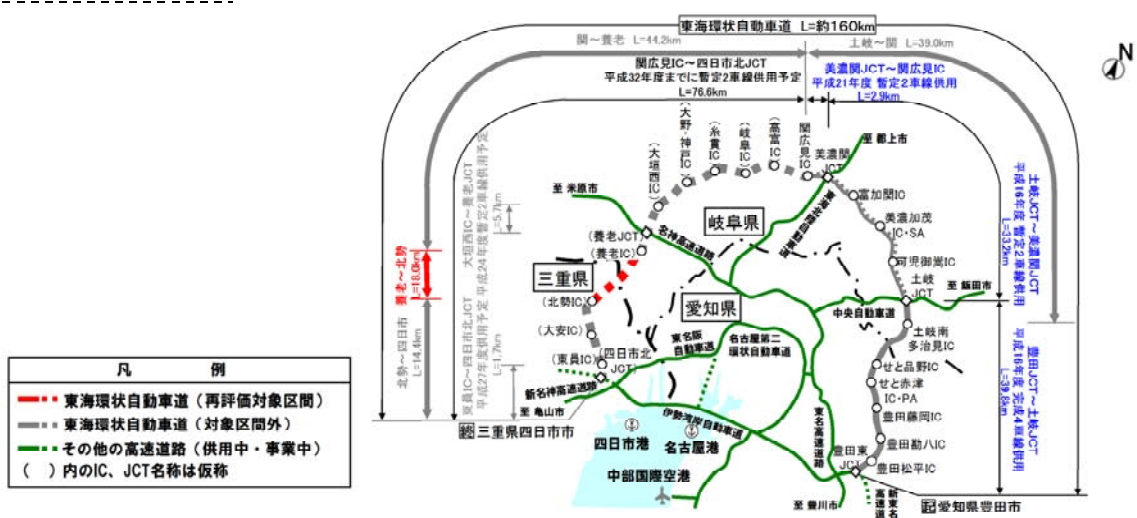
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道475号 東海環状自動車道（養老～北勢）
事業主体	中部地方整備局 中日本高速道路（株）

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 便益が費用を上回っている 	事業全体：費用便益比（B/C）=1.6（経済的純現在価値（B-C）=738億円、経済的內部収益率（EIRR）=7.0%） 残事業：費用便益比（B/C）=1.7（経済的純現在価値（B-C）=767億円、経済的內部収益率（EIRR）=7.2%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する 	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備なし）：80,721万人・時間/年 渋滞損失削減時間：284万人・時間/年（80,721万人・時間/年⇒80,437万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：（国道258号・大垣市橋本町～桑名市下添部） 並行区間の渋滞損失時間（整備なし）：162万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減率：約3割削減（162万人・時間/年⇒121万人・時間/年）
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> 第一種空港：中留国際空港、改善見込み（大垣市～中留国際空港：125分→82分、43分短縮） 名古屋港、改善見込み（大垣市～名古屋港：112分→55分、57分短縮） 四日市港、改善見込み（大垣市～四日市港：88分→66分、22分短縮） 	
1. 活力 都市の再生	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日） 東海環状自動車道（名古屋大都市圏） 	

<p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区画が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある。または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区画が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>国土・地域ネットワークの構築</p> <p>個性ある地域の形成</p> <p>歩行者・自転車・自転車間の生活空間の形成</p> <p>無電柱化による美しい町並みの形成</p> <p>安全で安心で生きるための確保</p>
	<p>2. 暮らし</p>
	<p>パレ－構想を支援(三重県における産業政策)</p> <p>ナガシマリゾート(H22年入込客数:6778千人)、多度大社(H22年入込客数:1340千人)</p> <p>三次救急医療施設(四日市市立四日市病院)→高度救命救急センター(岐阜大学医学部附属病院)間の所要時間 改善見込み(134分→108分 26分短縮)</p>

3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p>	<p>現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）</p> <p>現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p>CO2排出削減量：約 6,603 t/年</p> <p>自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外（推計結果）</p> <p>評価対象区間（並行区間）：国道258号大垣市横曾根町～桑名市和泉</p> <p>排出削減量：80.2t/年、排出削減率：約2割削減</p> <p>自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外（推計結果）</p> <p>評価対象区間（並行区間）：国道258号大垣市横曾根町～桑名市和泉</p> <p>排出削減量：7.75t/年、排出削減率：約2割削減</p>
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p>	<p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道475号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	L=18.0km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,500	4	中部地方整備局 中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	1,451億円	308億円	1,759億円
うち残事業分	1,428億円	308億円	1,736億円
基準年における 現在価値(C)	1,054億円	87億円	1,141億円
うち残事業分	1,026億円	87億円	1,114億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	76億円	5.9億円	2.9億円	84億円
基準年における 現在価値(B)	1,692億円	129億円	59億円	1,880億円
うち残事業分	1,692億円	129億円	59億円	1,880億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	739 億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.0%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	767 億円
経済的内部収益率（残事業）	7.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	14,500	±10%	1.5~1.9
事業費	1,428億円	±10%	1.5~1.9
事業期間	16年間	±20%	1.6~1.8

交通状況の変化

様式-3①

事業名：東海環状自動車道（養老～北勢）（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 18.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	14,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	12	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	33.57	
②主な周 辺道路 ^{※4}	名古屋高速 (一宮東IC ～清洲JCT) : 10.1km	交通量	[台/日]	57,200	54,500
		走行時間	[分]	9.5	9.4
		走行時間費用	[億円/年]	96.32	90.75
	国道22号 : 5.9km	交通量	[台/日]	65,100	63,500
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	155.42	147.00
	東名阪自動 車道(清洲 JCT～龜山 JCT) : 56.6km	交通量	[台/日]	53,900	51,000
		走行時間	[分]	55	54
		走行時間費用	[億円/年]	556.58	519.90
	国道306号 : 30.6km	交通量	[台/日]	2,700	2,300
		走行時間	[分]	63	63
		走行時間費用	[億円/年]	33.94	28.75
	国道1号 : 2.4km	交通量	[台/日]	30,300	28,200
		走行時間	[分]	6.0	6.0
		走行時間費用	[億円/年]	32.23	30.17
国道258号 : 41.7km	交通量	[台/日]	25,000	21,500	
	走行時間	[分]	65.7	65.1	
	走行時間費用	[億円/年]	303.24	258.26	
③その他道路合計 : 15761.9km	走行時間費用	[億円/年]	61,876.04	61,811.30	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 15927.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	63,053.77	62,919.70	134.08

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

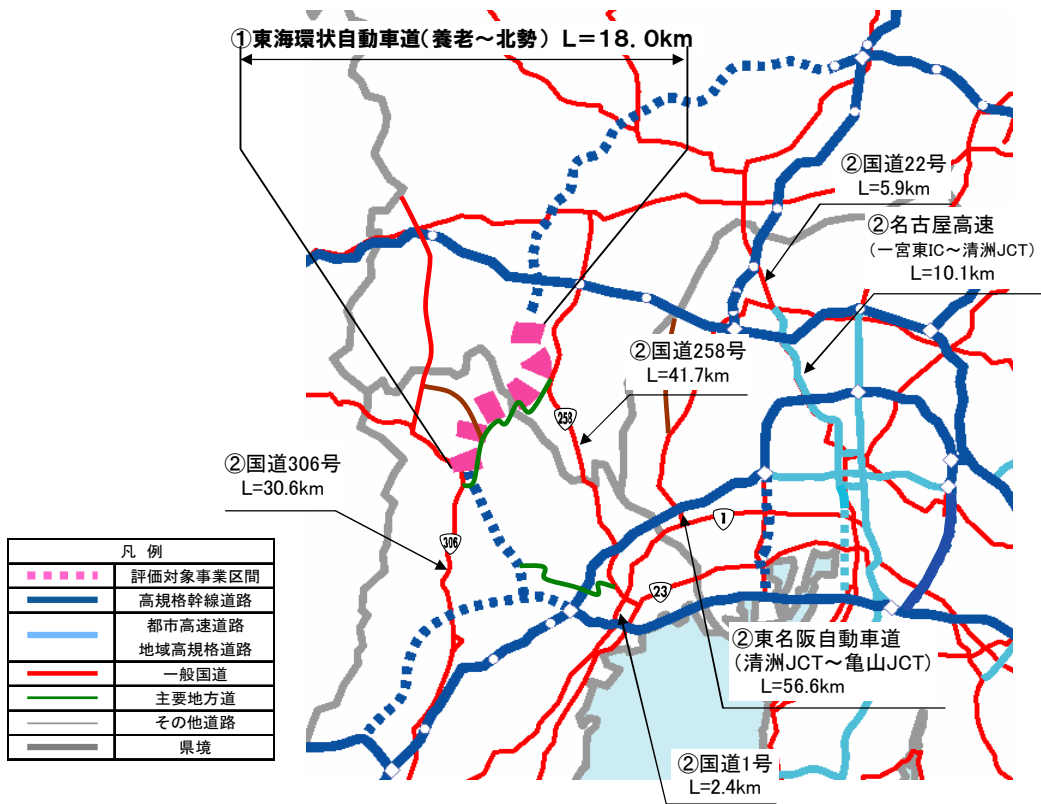
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 東海環状自動車道(養老～北勢)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名: 東海環状自動車道(養老～北勢)

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		中日本高速道路(株)の維持管理計画を踏まえた単価を使用	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（養老～北勢）
（事業全体）

単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.33	18.0	5.89

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H 10	1.6651	102.8	1.00	1.46		
-22年目	H 11	1.6010	101.3	1.00	1.42		
-21年目	H 12	1.5395	99.7	1.50	2.08		
-20年目	H 13	1.4802	98.4	1.00	1.35		
-19年目	H 14	1.4233	96.6	1.00	1.33		
-18年目	H 15	1.3686	95.4	1.00	1.29		
-17年目	H 16	1.3159	94.4	1.00	1.25		
-16年目	H 17	1.2653	93.2	1.00	1.22		
-15年目	H 18	1.2167	92.5	0.97	1.15		
-14年目	H 19	1.1699	91.7	2.25	2.58		
-13年目	H 20	1.1249	91.2	3.39	3.76		
-12年目	H 21	1.0816	90.0	4.87	5.27		
-11年目	H 22	1.0400	90.0	1.50	1.56		
基準年	H 23	1.0000	90.0	1.61	1.61		
-9年目	H 24	0.9615	90.0	2.14	2.06		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	7.36	6.80		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	25.50	22.67		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	77.13	65.93		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	160.31	131.77		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	223.76	176.84		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	237.29	180.32		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	167.77	122.59		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	85.95	60.39		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0	64.68	43.70	4.27	2.88
1年目	H 34	0.6496	90.0	75.37	48.96	4.34	2.82
2年目	H 35	0.6246	90.0	72.91	45.54	4.41	2.75
3年目	H 36	0.6006	90.0	74.60	44.80	4.49	2.69
4年目	H 37	0.5775	90.0	63.68	36.77	4.57	2.64
5年目	H 38	0.5553	90.0	54.51	30.27	4.66	2.59
6年目	H 39	0.5339	90.0	34.79	18.58	4.75	2.54
7年目	H 40	0.5134	90.0			5.47	2.81
8年目	H 41	0.4936	90.0			5.55	2.74
9年目	H 42	0.4746	90.0			5.61	2.66
10年目	H 43	0.4564	90.0			5.69	2.60
11年目	H 44	0.4388	90.0			5.78	2.54
12年目	H 45	0.4220	90.0			5.87	2.48
13年目	H 46	0.4057	90.0			5.94	2.41
14年目	H 47	0.3901	90.0			6.01	2.34
15年目	H 48	0.3751	90.0			6.08	2.28
16年目	H 49	0.3607	90.0			6.14	2.21
17年目	H 50	0.3468	90.0			6.22	2.16
18年目	H 51	0.3335	90.0			6.29	2.10
19年目	H 52	0.3207	90.0			6.36	2.04
20年目	H 53	0.3083	90.0			6.43	1.98
21年目	H 54	0.2965	90.0			6.50	1.93
22年目	H 55	0.2851	90.0			6.57	1.87
23年目	H 56	0.2741	90.0			6.63	1.82
24年目	H 57	0.2636	90.0			6.71	1.77
25年目	H 58	0.2534	90.0			6.79	1.72
26年目	H 59	0.2437	90.0			6.77	1.65
27年目	H 60	0.2343	90.0			6.75	1.58
28年目	H 61	0.2253	90.0			6.72	1.51
29年目	H 62	0.2166	90.0			7.35	1.59
30年目	H 63	0.2083	90.0			6.77	1.41
31年目	H 64	0.2003	90.0			6.75	1.35
32年目	H 65	0.1926	90.0			6.73	1.30
33年目	H 66	0.1852	90.0			6.71	1.24
34年目	H 67	0.1780	90.0			6.70	1.19
35年目	H 68	0.1712	90.0			6.68	1.14
36年目	H 69	0.1646	90.0			6.66	1.10
37年目	H 70	0.1583	90.0			6.65	1.05

38年目	H 71	0.1522	90.0			6.63	1.01
39年目	H 72	0.1463	90.0			6.61	0.97
40年目	H 73	0.1407	90.0			6.60	0.93
41年目	H 74	0.1353	90.0			6.58	0.89
42年目	H 75	0.1301	90.0			6.57	0.85
43年目	H 76	0.1251	90.0			6.56	0.82
44年目	H 77	0.1203	90.0			6.54	0.79
45年目	H 78	0.1157	90.0			6.52	0.75
46年目	H 79	0.1112	90.0			6.51	0.72
47年目	H 80	0.1069	90.0			6.49	0.69
48年目	H 81	0.1028	90.0			6.47	0.67
49年目	H 82	0.0989	90.0	-118.24	-11.69	6.45	0.64
合計				1,332.60	1,053.63	307.89	87.22
単純事業費計				1,450.84		307.89	

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（養老～北勢）
（残事業）

単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.33	18.0	5.89

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H 10	1.6651	102.8				
-22年目	H 11	1.6010	101.3				
-21年目	H 12	1.5395	99.7				
-20年目	H 13	1.4802	98.4				
-19年目	H 14	1.4233	96.6				
-18年目	H 15	1.3686	95.4				
-17年目	H 16	1.3159	94.4				
-16年目	H 17	1.2653	93.2				
-15年目	H 18	1.2167	92.5				
-14年目	H 19	1.1699	91.7				
-13年目	H 20	1.1249	91.2				
-12年目	H 21	1.0816	90.0				
-11年目	H 22	1.0400	90.0				
基準年	H 23	1.0000	90.0				
-9年目	H 24	0.9615	90.0	2.14	2.06		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	7.36	6.80		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	25.50	22.67		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	77.13	65.93		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	160.31	131.77		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	223.76	176.84		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	237.29	180.32		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	167.77	122.59		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	85.95	60.39		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0	64.68	43.70	4.27	2.88
1年目	H 34	0.6496	90.0	75.37	48.96	4.34	2.82
2年目	H 35	0.6246	90.0	72.91	45.54	4.41	2.75
3年目	H 36	0.6006	90.0	74.60	44.80	4.49	2.69
4年目	H 37	0.5775	90.0	63.68	36.77	4.57	2.64
5年目	H 38	0.5553	90.0	54.51	30.27	4.66	2.59
6年目	H 39	0.5339	90.0	34.79	18.58	4.75	2.54
7年目	H 40	0.5134	90.0			5.47	2.81
8年目	H 41	0.4936	90.0			5.55	2.74
9年目	H 42	0.4746	90.0			5.61	2.66
10年目	H 43	0.4564	90.0			5.69	2.60
11年目	H 44	0.4388	90.0			5.78	2.54
12年目	H 45	0.4220	90.0			5.87	2.48
13年目	H 46	0.4057	90.0			5.94	2.41
14年目	H 47	0.3901	90.0			6.01	2.34
15年目	H 48	0.3751	90.0			6.08	2.28
16年目	H 49	0.3607	90.0			6.14	2.21
17年目	H 50	0.3468	90.0			6.22	2.16
18年目	H 51	0.3335	90.0			6.29	2.10
19年目	H 52	0.3207	90.0			6.36	2.04
20年目	H 53	0.3083	90.0			6.43	1.98
21年目	H 54	0.2965	90.0			6.50	1.93
22年目	H 55	0.2851	90.0			6.57	1.87
23年目	H 56	0.2741	90.0			6.63	1.82
24年目	H 57	0.2636	90.0			6.71	1.77
25年目	H 58	0.2534	90.0			6.79	1.72
26年目	H 59	0.2437	90.0			6.77	1.65
27年目	H 60	0.2343	90.0			6.75	1.58
28年目	H 61	0.2253	90.0			6.72	1.51
29年目	H 62	0.2166	90.0			7.35	1.59
30年目	H 63	0.2083	90.0			6.77	1.41
31年目	H 64	0.2003	90.0			6.75	1.35
32年目	H 65	0.1926	90.0			6.73	1.30
33年目	H 66	0.1852	90.0			6.71	1.24
34年目	H 67	0.1780	90.0			6.70	1.19
35年目	H 68	0.1712	90.0			6.68	1.14
36年目	H 69	0.1646	90.0			6.66	1.10
37年目	H 70	0.1583	90.0			6.65	1.05

38年目	H 71	0.1522	90.0			6.63	1.01
39年目	H 72	0.1463	90.0			6.61	0.97
40年目	H 73	0.1407	90.0			6.60	0.93
41年目	H 74	0.1353	90.0			6.58	0.89
42年目	H 75	0.1301	90.0			6.57	0.85
43年目	H 76	0.1251	90.0			6.56	0.82
44年目	H 77	0.1203	90.0			6.54	0.79
45年目	H 78	0.1157	90.0			6.52	0.75
46年目	H 79	0.1112	90.0			6.51	0.72
47年目	H 80	0.1069	90.0			6.49	0.69
48年目	H 81	0.1028	90.0			6.47	0.67
49年目	H 82	0.0989	90.0	-118.24	-11.69	6.45	0.64
合計				1,309.51	1,026.28	307.89	87.22
単純事業費計				1,427.75		307.89	

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：東海環状自動車道（養老～北勢）（事業全体・残事業）

年次 (基準年)	総走行台数の年次別伸び率 (東海ルート)			GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)			合計(億円)							
	乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物	普通貨物	乗用車種	小型貨物	普通貨物	乗用車種	小型貨物	普通貨物	現在価値 (A) × (2)	現在価値 (3) × (A)	便益合計 (1)~(3) 割引率4%					
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.6756	90.0	41.13	10.02	24.51	75.65	51.10	3.84	0.45	1.64	5.93	4.00	2.86	1.93	84.43	57.04
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.6496	90.0	41.15	9.93	24.52	75.60	49.11	3.84	0.45	1.64	5.93	3.85	2.86	1.85	84.38	54.81
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.6246	90.0	41.17	9.85	24.54	75.55	47.19	3.84	0.44	1.64	5.93	3.70	2.85	1.78	84.33	52.67
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6006	90.0	41.19	9.77	24.55	75.51	45.35	3.85	0.44	1.64	5.92	3.56	2.85	1.71	84.28	50.62
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.5775	90.0	41.21	9.69	24.57	75.46	43.58	3.85	0.43	1.64	5.92	3.42	2.85	1.64	84.23	48.64
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.5539	90.0	41.23	9.61	24.58	75.41	41.87	3.85	0.43	1.64	5.92	3.29	2.85	1.58	84.18	46.74
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.5339	90.0	41.25	9.52	24.60	75.36	40.24	3.85	0.43	1.64	5.92	3.16	2.84	1.52	84.13	44.92
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5134	90.0	41.27	9.44	24.62	75.31	38.61	3.85	0.43	1.64	5.92	3.02	2.84	1.45	84.08	43.22
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99916	0.4936	90.0	41.29	9.36	24.64	75.26	36.96	3.85	0.43	1.64	5.92	2.88	2.84	1.38	84.03	41.61
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.4746	90.0	41.31	9.28	24.66	75.21	35.31	3.85	0.43	1.64	5.92	2.71	2.84	1.31	83.98	40.00
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.4564	90.0	41.33	9.20	24.68	75.16	33.66	3.85	0.43	1.64	5.92	2.54	2.84	1.24	83.93	38.39
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4388	90.0	41.35	9.12	24.70	75.11	32.01	3.85	0.43	1.64	5.92	2.37	2.84	1.17	83.88	36.70
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4220	90.0	41.37	9.04	24.72	75.06	30.36	3.85	0.43	1.64	5.92	2.20	2.84	1.10	83.83	35.01
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4057	90.0	41.39	8.96	24.74	75.01	28.71	3.85	0.43	1.64	5.92	2.03	2.84	1.03	83.78	33.32
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.3901	90.0	41.41	8.88	24.76	74.96	27.06	3.85	0.43	1.64	5.92	1.86	2.84	0.96	83.73	31.63
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.3751	90.0	41.43	8.80	24.78	74.91	25.41	3.85	0.43	1.64	5.92	1.69	2.84	0.89	83.68	30.04
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.3601	90.0	41.45	8.72	24.80	74.86	23.76	3.85	0.43	1.64	5.92	1.52	2.84	0.82	83.63	28.45
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3468	90.0	41.47	8.64	24.82	74.81	22.11	3.85	0.43	1.64	5.92	1.35	2.84	0.75	83.58	26.86
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3335	90.0	41.49	8.56	24.84	74.76	20.46	3.85	0.43	1.64	5.92	1.18	2.84	0.68	83.53	25.27
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3203	90.0	41.51	8.48	24.86	74.71	18.81	3.85	0.43	1.64	5.92	1.01	2.84	0.61	83.48	23.68
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3083	90.0	41.53	8.40	24.88	74.66	17.16	3.85	0.43	1.64	5.92	0.84	2.84	0.54	83.43	22.09
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.2965	90.0	41.55	8.32	24.90	74.61	15.51	3.85	0.43	1.64	5.92	0.67	2.84	0.47	83.38	20.50
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.2851	90.0	41.57	8.24	24.92	74.56	13.86	3.85	0.43	1.64	5.92	0.50	2.84	0.40	83.33	18.91
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.2741	90.0	41.59	8.16	24.94	74.51	12.21	3.85	0.43	1.64	5.92	0.33	2.84	0.33	83.28	17.32
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2636	90.0	41.61	8.08	24.96	74.46	10.56	3.85	0.43	1.64	5.92	0.16	2.84	0.26	83.23	15.73
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2534	90.0	41.63	8.00	24.98	74.41	8.91	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.19	83.18	14.14
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2437	90.0	41.65	7.92	25.00	74.36	7.26	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.12	83.13	12.55
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2343	90.0	41.67	7.84	25.02	74.31	5.61	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.05	83.08	10.96
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2253	90.0	41.69	7.76	25.04	74.26	3.96	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	83.03	9.37
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2166	90.0	41.71	7.68	25.06	74.21	2.31	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.98	7.78
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2083	90.0	41.73	7.60	25.08	74.16	0.66	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.93	6.19
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2003	90.0	41.75	7.52	25.10	74.11	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.88	4.60
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.1926	90.0	41.77	7.44	25.12	74.06	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.83	3.01
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.1852	90.0	41.79	7.36	25.14	74.01	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.78	1.42
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.1780	90.0	41.81	7.28	25.16	73.96	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.73	0.00
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1712	90.0	41.83	7.20	25.18	73.91	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.68	0.00
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1646	90.0	41.85	7.12	25.20	73.86	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.63	0.00
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1583	90.0	41.87	7.04	25.22	73.81	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.58	0.00
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1522	90.0	41.89	6.96	25.24	73.76	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.53	0.00
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1463	90.0	41.91	6.88	25.26	73.71	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.48	0.00
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1407	90.0	41.93	6.80	25.28	73.66	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.43	0.00
41年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1353	90.0	41.95	6.72	25.30	73.61	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.38	0.00
42年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1301	90.0	41.97	6.64	25.32	73.56	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.33	0.00
43年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1251	90.0	41.99	6.56	25.34	73.51	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.28	0.00
44年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1203	90.0	42.01	6.48	25.36	73.46	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.23	0.00
45年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1157	90.0	42.03	6.40	25.38	73.41	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.18	0.00
46年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1112	90.0	42.05	6.32	25.40	73.36	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.13	0.00
47年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1069	90.0	42.07	6.24	25.42	73.31	0.00	3.85	0.43	1.64	5.92	0.00	2.84	0.00	82.08	0.00
48年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1028	90.0	42.09	6.16	25.44	73.										

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	4	18.0km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				102,944	
	改良費				13,891	
		土工	m ³	972,665	3,984	
		軟弱地盤改良工	m ³	40,250	4,140	
		法面工	m ²	245,260	709	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	462	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	312	30	
		函渠工	m	1,804	1,338	
		排水工	m	27,666	1,946	
		中央分離帯工	m	4,930	251	
		雑工	式	1	1,030	
	橋梁費				36,820	
		100m以上	m	2,513	36,231	
		100m未満	m	51	589	
	トンネル費				41,396	
		NATM	m	4,720	41,396	本線2本+避難坑
		シールド	m			
	IC・JCT費				6,715	
		IC	箇所	1	6,715	トランペット型
		JCT	箇所			
	舗装費				3,139	
		車道舗装	m ²	309,252	3,139	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				983	
		交通管理施設工	式	1	983	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				12,124	
	用地費		m ²	329,175	11,824	
		宅地	m ²	28,250	953	
		田畑	m ²	368,665	9,509	
		山林・原野	m ²	270,960	1,362	
		その他	m ²			
	補償費	式		1	300	
③	間接経費	式		1	34,932	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				150,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	4	18.0km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				102,944	
	改良費				13,891	
		土工	m ³	972,665	3,984	
		軟弱地盤改良工	m ³	40,250	4,140	
		法面工	m ²	245,260	709	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	462	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	312	30	
		函渠工	m	1,804	1,338	
		排水工	m	27,666	1,946	
		中央分離帯工	m	4,930	251	
		雑工	式	1	1,030	
	橋梁費				36,820	
		100m以上	m	2,513	36,231	
		100m未満	m	51	589	
	トンネル費				41,396	
		NATM	m	4,720	41,396	本線2本+避難坑
		シールド	m			
	IC・JCT費				6,715	
		IC	箇所	1	6,715	トランペット型
		JCT	箇所			
	舗装費				3,139	
		車道舗装	m ²	309,252	3,139	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				983	
		交通管理施設工	式	1	983	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				12,124	
	用地費		m ²	329,175	11,824	
		宅地	m ²	28,250	953	
		田畑	m ²	368,665	9,509	
		山林・原野	m ²	270,960	1,362	
		その他	m ²			
	補償費	式		1	300	
③	間接経費	式		1	32,623	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				147,691	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	4	18.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	18.0	274	H42年度、(清掃・植栽・雪氷・交通管理巡回)
修繕費	式	1	315	H42年度
その他	式			H42年度
維持管理費合計			589	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名 一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道 <small>ほくせい よっかいち</small> （北勢～四日市）	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局 中日本高速道路(株)						
起終点 自： <small>みえ ほくせい あげき</small> 三重県いなべ市北勢町阿下喜 至： <small>みえ よっかいち きたやま</small> 三重県四日市市北山町	延長 14.4 km							
事業概要 一般国道475号東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て、三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。 本事業の東海環状自動車道（北勢～四日市）は、三重県いなべ市北勢町から四日市市北山町に至る延長14.4kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）であり、広域ネットワークの構築、地域経済活性化の支援、地域活性化の支援や災害に強い道路機能の確保を主な目的として事業を推進しています。								
H2年度事業化 H3年度都市計画決定 H5年度用地着手 H9年度工事着手								
全体事業費 1,300億円 事業進捗率 25% 供用済延長 0.0km								
計画交通量 27,100台/日								
費用対効果分析結果 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C</td> <td style="width: 20%;">事業全体</td> <td style="width: 20%;">1.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残事業</td> <td>2.6</td> </tr> </table>	B/C	事業全体	1.7		残事業	2.6	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 821/1,290 億円 事業費：726/1,194億円 維持管理費：95/95 億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 2,160/2,160億円 走行時間短縮便益：1,932/1,932億円 走行経費減少便益：135/135 億円 交通事故減少便益：93/93 億円
B/C	事業全体	1.7						
	残事業	2.6						
基準年 平成23年								
感度分析の結果 <small>残事業について感度分析を実施</small> 交通量：B/C=2.9（交通量+10%） B/C=2.4（交通量-10%） 事業費：B/C=2.4（事業費+10%） B/C=2.9（事業費-10%） 事業期間：B/C=2.5（事業期間+20%） B/C=2.7（事業期間-20%）								
事業の効果等								
①円滑なモビリティの確保 ・現道の年間渋滞損失時間の削減 【160万人時間/年⇒121万人時間/年、削減率約2割】 ・第一種空港：中部国際空港へのアクセス向上 【大垣市～中部国際空港：125分→82分】 ②物流効率化の支援 ・四日市港へのアクセス向上 【大垣市～四日市港：88分→66分】 ③都市の再生 ・都市再生プロジェクトを支援 【都市再生プロジェクト 第2次決定 平成13年8月28日】 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成 【東海環状自動車道（名古屋大都市圏）】 ④国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成 【地方生活圏中心都市を連絡（四日市市⇄大垣市：100分→55分）】 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成 【二次生活圏中心都市を最短時間で連絡（桑名市⇄大垣市：66分→47分）】 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 【いなべ市⇄桑名市（二次生活圏：32分→21分）いなべ市⇄四日市市（地方生活圏：44分→30分）】 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援 【バレー構想を支援（三重県における産業政策）】 ・主要な観光地へのアクセス向上が期待 【ナガシマリゾート（H22年入込客数：6,778千人）、多度大社（H22年入込客数：1,340千人）】 ⑥安全で安心できる暮らしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上 【二次救急医療施設：いなべ総合病院→三次救急医療施設：四日市市立四日市病院間（33分→24分）】 ⑦災害への備え ・緊急輸送道路としての位置づけ 【名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想】 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成								

【緊急輸送道路：東名阪自動車道，国道258号】

・現道等の冬期交通障害区間を解消 【(主) 南濃北勢線の代替路を形成】

⑧地球環境の保全

・CO2排出量削減【沿道地域 1,574t/年削減】

⑨生活環境の改善・保全

・NO2排出量削減【並行区間 74.5t/年削減】

・SPM排出量削減【並行区間 7.20t/年削減】

・現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間で要請限度を下回ることが期待

【国道258号(桑名市繁松新田東の割：73dB、桑名市江場中野：72dB) 国道421号(桑名市中山町：71dB)

(主) 星川西別所線(桑名市蓮花寺：72dB)】

⑩他のプロジェクトとの関係

・関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり

【国土開発幹線自動車道：近畿自動車道名古屋神戸線との一体的な整備】

関係する地方公共団体等の意見

東海環状自動車道(北勢～四日市)は、地域の産業・経済活性化に重要な役割を果たすことが期待されており、いなべ市・東員町をはじめとする3市1町の首長で構成される東海環状自動車道三重県区間建設促進期成同盟会より建設促進の要望を受けている。

県知事の意見

本事業は、中部圏の広域ネットワークを構築することで、地域経済活動の活性化や交通渋滞の緩和、さらにはリダンダンシーの確保による災害に強い道路機能の確保を図るための重要な事業です。

今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、四日市～東員IC間の平成27年度供用を確実にするとともに、早期全線完成に向けた事業の確実な推進をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・名神高速道路大垣IC～米原JCT間にて交通規制が発生した場合、三重県北勢地域から岐阜県方面回は大きな迂回が必要。

・四日市港の外貿コンテナ取扱量は増加傾向に有り、過去最高を更新

・岐阜県と三重県を結ぶ第1次緊急輸送道路の代替路が未確保。

・新名神高速道路の供用は周辺地域の観光施設入込客数増加に貢献し、北勢地域の主要観光施設の入込客数では増加傾向が持続。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業進捗率は25%、用地取得率は97%(平成22年度末)。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・東員IC(仮称)～四日市北JCT(仮称)間(L=1.7km)は、平成27年度の完成供用を予定。

・北勢IC(仮称)～東員IC(仮称)間(L=12.7km)は、平成32年度までに暫定2車線供用を予定。

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

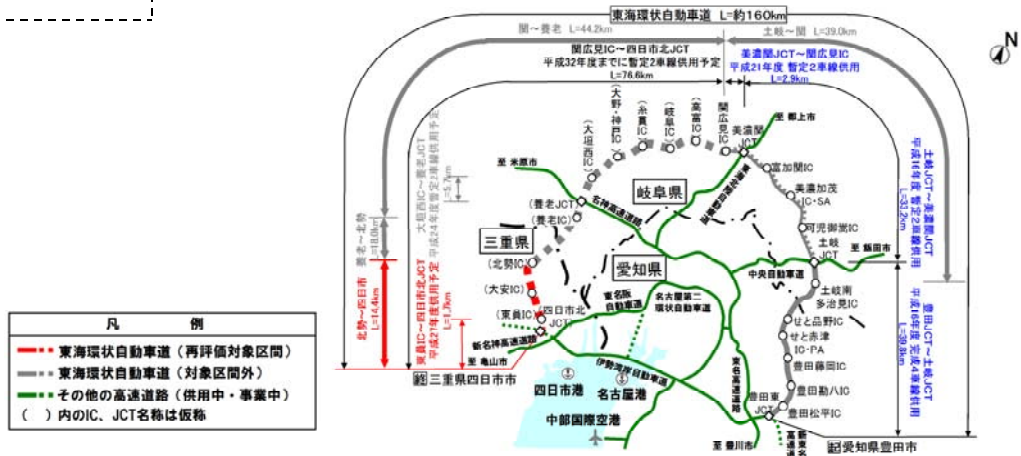
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道475号 東海環状自動車道（北勢～四日市）
事業主体	中部地方整備局 中日本高速道路（株）

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（B/C）=1.7（経済的純現在価値（B-C）=870億円、経済的內部収益率（EIRR）=6.0%） 残事業：費用便益比（B/C）=2.6（経済的純現在価値（B-C）=1,338億円、経済的內部収益率（EIRR）=10.3%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上、踏切道の除却もしくは交通改善が期待される □ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する ■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する 	<p>指標チェックの根拠</p> <p>区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備なし）：80,481万人・時間/年 渋滞損失削減時間：495万人・時間/年（80,481万人・時間/年⇒79,986万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：（国道258号・大垣市橋本町～桑名市下添部） 並行区間の渋滞損失時間（整備なし）：160万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減率：約2割削減（160万人・時間/年⇒121万人・時間/年）</p> <p>第一種空港：中部国際空港、改善見込み（大垣市～中部国際空港：125分→82分、43分短縮） 四日市港、改善見込み（大垣市～四日市港：88分→66分、22分短縮）</p> <p>都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日） 東海環状自動車道（名古屋大都市圏）</p>
物流効率化の支援		
1. 活力 都市の再生		

3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p>	<p>現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）</p> <p>現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p>CO2排出削減量：約 1,574 t/年</p> <p>自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外（推計結果）</p> <p>評価対象区間（並行区間）：国道258号大垣市横曾根町～桑名市和泉</p> <p>排出削減量：74.5t/年、排出削減率：約2割削減</p> <p>自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外（推計結果）</p> <p>評価対象区間（並行区間）：国道258号大垣市横曾根町～桑名市和泉</p> <p>排出削減量：7.20t/年、排出削減率：約2割削減</p> <p>国道258号（桑名市繁松新田東の割：73dB、桑名市江場中野：72dB、国道421号（桑名市中山町：71dB）（主）墨川西別所線（桑名市蓮花寺：72dB）</p>
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p>	<p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p> <p>国土開発幹線自動車道：近畿自動車道名古屋神戸線との一体的な整備</p>

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道475号	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	L=14.4km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
27,100	4	中部地方整備局 中日本高速道路(株)

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	1,257億円	332億円	1,589億円
うち残事業分	923億円	332億円	1,255億円
基準年における 現在価値 (C)	1,194億円	95億円	1,290億円
うち残事業分	726億円	95億円	821億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	94億円	5.7億円	4.9億円	104億円
基準年における 現在価値 (B)	1,932億円	135億円	93億円	2,160億円
うち残事業分	1,932億円	135億円	93億円	2,160億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	870 億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.0%
費用便益比（残事業）	2.6
経済的純現在価値（残事業）	1,338 億円
経済的内部収益率（残事業）	10.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	27,100	±10%	2.4~2.9
事業費	923億円	±10%	2.4~2.9
事業期間	14年間	±20%	2.5~2.7

交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：東海環状自動車道（北勢～四日市）（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 14.4km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	27,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	9.4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	48.09	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道258号 : 33.5km	交通量	[台/日]	23,600	19,600
		走行時間	[分]	51	51
		走行時間費用	[億円/年]	226.07	185.18
	国道421号 : 14.7km	交通量	[台/日]	15,400	14,400
		走行時間	[分]	33	32
		走行時間費用	[億円/年]	97.06	88.34
	国道365号 : 9.7km	交通量	[台/日]	17,100	12,500
		走行時間	[分]	21	18
		走行時間費用	[億円/年]	69.17	42.43
	国道306号 : 16.0km	交通量	[台/日]	10,700	7,700
		走行時間	[分]	35	32
		走行時間費用	[億円/年]	76.93	51.92
③その他道路合計 : 15837.1km	走行時間費用	[億円/年]	61,814.42	61,723.22	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 15925.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	62,283.65	62,139.18	144.47

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

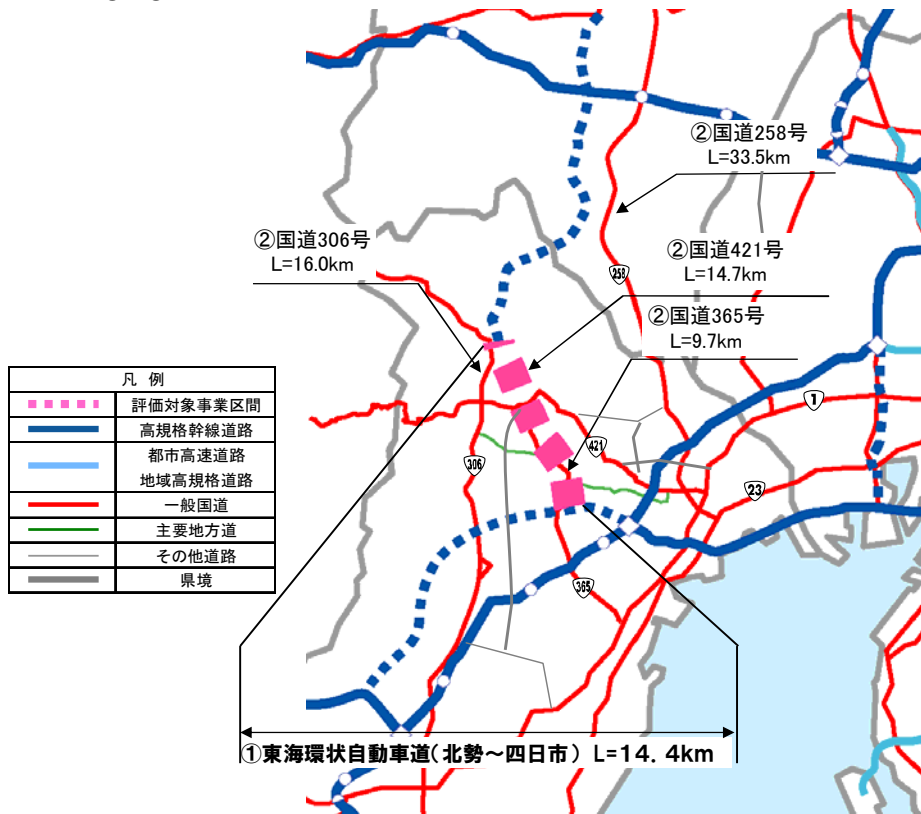
※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 東海環状自動車道(北勢~四日市)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 中日本高速道路(株)の維持管理計画を踏まえた単価を使用	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（北勢～四日市）
（事業全体）

				単価（億円）	延長（km）	単純価値（億円）	
				0.46	14.4	6.68	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-31年目	H 2	2.2788	99.6	0.20	0.41		
-30年目	H 3	2.1911	102.0	0.40	0.77		
-29年目	H 4	2.1068	103.4	4.80	8.80		
-28年目	H 5	2.0258	103.7	12.10	21.27		
-27年目	H 6	1.9479	103.6	21.46	36.32		
-26年目	H 7	1.8730	103.0	26.65	43.62		
-25年目	H 8	1.8009	102.4	28.58	45.24		
-24年目	H 9	1.7317	103.4	35.53	53.56		
-23年目	H 10	1.6651	102.8	36.23	52.82		
-22年目	H 11	1.6010	101.3	48.40	68.84		
-21年目	H 12	1.5395	99.7	31.29	43.48		
-20年目	H 13	1.4802	98.4	13.54	18.33		
-19年目	H 14	1.4233	96.6	10.31	13.67		
-18年目	H 15	1.3686	95.4	7.66	9.89		
-17年目	H 16	1.3159	94.4	4.79	6.00		
-16年目	H 17	1.2653	93.2	4.74	5.79		
-15年目	H 18	1.2167	92.5	7.66	9.07		
-14年目	H 19	1.1699	91.7	5.77	6.62		
-13年目	H 20	1.1249	91.2	6.86	7.62		
-12年目	H 21	1.0816	90.0	6.25	6.76		
-11年目	H 22	1.0400	90.0	6.44	6.70		
基準年	H 23	1.0000	90.0	14.43	14.43		
-9年目	H 24	0.9615	90.0	28.86	27.75		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	53.07	49.06		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	101.09	89.87		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	105.79	90.43		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	98.70	81.13		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	115.82	91.53		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	120.58	91.63		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	128.68	94.02		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	86.90	61.05		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0	30.98	20.93	4.54	3.07
1年目	H 34	0.6496	90.0	14.39	9.35	4.55	2.96
2年目	H 35	0.6246	90.0	14.39	8.99	4.59	2.87
3年目	H 36	0.6006	90.0	14.39	8.64	4.64	2.79
4年目	H 37	0.5775	90.0	9.16	5.29	4.73	2.73
5年目	H 38	0.5553	90.0			6.18	3.43
6年目	H 39	0.5339	90.0			6.24	3.33
7年目	H 40	0.5134	90.0			6.28	3.23
8年目	H 41	0.4936	90.0			6.33	3.12
9年目	H 42	0.4746	90.0			6.36	3.02
10年目	H 43	0.4564	90.0			6.43	2.93
11年目	H 44	0.4388	90.0			6.50	2.85
12年目	H 45	0.4220	90.0			6.56	2.77
13年目	H 46	0.4057	90.0			6.61	2.68
14年目	H 47	0.3901	90.0			6.65	2.59
15年目	H 48	0.3751	90.0			6.69	2.51
16年目	H 49	0.3607	90.0			6.73	2.43
17年目	H 50	0.3468	90.0			6.77	2.35
18年目	H 51	0.3335	90.0			6.84	2.28
19年目	H 52	0.3207	90.0			6.89	2.21
20年目	H 53	0.3083	90.0			6.95	2.14
21年目	H 54	0.2965	90.0			6.98	2.07
22年目	H 55	0.2851	90.0			7.02	2.00
23年目	H 56	0.2741	90.0			7.06	1.94
24年目	H 57	0.2636	90.0			7.11	1.87
25年目	H 58	0.2534	90.0			7.18	1.82
26年目	H 59	0.2437	90.0			7.15	1.74
27年目	H 60	0.2343	90.0			7.12	1.67
28年目	H 61	0.2253	90.0			7.08	1.59
29年目	H 62	0.2166	90.0			8.01	1.74
30年目	H 63	0.2083	90.0			7.14	1.49

31年目	H 64	0.2003	90.0			7.13	1.43
32年目	H 65	0.1926	90.0			7.11	1.37
33年目	H 66	0.1852	90.0			7.09	1.31
34年目	H 67	0.1780	90.0			7.06	1.26
35年目	H 68	0.1712	90.0			7.04	1.21
36年目	H 69	0.1646	90.0			7.03	1.16
37年目	H 70	0.1583	90.0			6.99	1.11
38年目	H 71	0.1522	90.0			6.98	1.06
39年目	H 72	0.1463	90.0			6.96	1.02
40年目	H 73	0.1407	90.0			6.94	0.98
41年目	H 74	0.1353	90.0			6.92	0.94
42年目	H 75	0.1301	90.0			6.89	0.90
43年目	H 76	0.1251	90.0			6.88	0.86
44年目	H 77	0.1203	90.0			6.84	0.82
45年目	H 78	0.1157	90.0			6.83	0.79
46年目	H 79	0.1112	90.0			6.82	0.76
47年目	H 80	0.1069	90.0			6.79	0.73
48年目	H 81	0.1028	90.0			6.77	0.70
49年目	H 82	0.0989	90.0	-155.44	-15.37	6.74	0.67
合計				1,101.45	1,194.33	331.73	95.26
単純事業費計				1,256.89		331.73	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：東海環状自動車道（北勢～四日市）
（残事業）

単価（億円）	延長（km）	単純単価（億円）
0.46	14.4	6.68

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-31年目	H 2	2.2788	99.6				
-30年目	H 3	2.1911	102.0				
-29年目	H 4	2.1068	103.4				
-28年目	H 5	2.0258	103.7				
-27年目	H 6	1.9479	103.6				
-26年目	H 7	1.8730	103.0				
-25年目	H 8	1.8009	102.4				
-24年目	H 9	1.7317	103.4				
-23年目	H 10	1.6651	102.8				
-22年目	H 11	1.6010	101.3				
-21年目	H 12	1.5395	99.7				
-20年目	H 13	1.4802	98.4				
-19年目	H 14	1.4233	96.6				
-18年目	H 15	1.3686	95.4				
-17年目	H 16	1.3159	94.4				
-16年目	H 17	1.2653	93.2				
-15年目	H 18	1.2167	92.5				
-14年目	H 19	1.1699	91.7				
-13年目	H 20	1.1249	91.2				
-12年目	H 21	1.0816	90.0				
-11年目	H 22	1.0400	90.0				
基準年	H 23	1.0000	90.0				
-9年目	H 24	0.9615	90.0	28.86	27.75		
-8年目	H 25	0.9246	90.0	53.07	49.06		
-7年目	H 26	0.8890	90.0	101.09	89.87		
-6年目	H 27	0.8548	90.0	105.79	90.43		
-5年目	H 28	0.8219	90.0	98.70	81.13		
-4年目	H 29	0.7903	90.0	115.82	91.53		
-3年目	H 30	0.7599	90.0	120.58	91.63		
-2年目	H 31	0.7307	90.0	128.68	94.02		
-1年目	H 32	0.7026	90.0	86.90	61.05		
供用開始年次	H 33	0.6756	90.0	30.98	20.93	4.54	3.07
1年目	H 34	0.6496	90.0	14.39	9.35	4.55	2.96
2年目	H 35	0.6246	90.0	14.39	8.99	4.59	2.87
3年目	H 36	0.6006	90.0	14.39	8.64	4.64	2.79
4年目	H 37	0.5775	90.0	9.16	5.29	4.73	2.73
5年目	H 38	0.5553	90.0			6.18	3.43
6年目	H 39	0.5339	90.0			6.24	3.33
7年目	H 40	0.5134	90.0			6.28	3.23
8年目	H 41	0.4936	90.0			6.33	3.12
9年目	H 42	0.4746	90.0			6.36	3.02
10年目	H 43	0.4564	90.0			6.43	2.93
11年目	H 44	0.4388	90.0			6.50	2.85
12年目	H 45	0.4220	90.0			6.56	2.77
13年目	H 46	0.4057	90.0			6.61	2.68
14年目	H 47	0.3901	90.0			6.65	2.59
15年目	H 48	0.3751	90.0			6.69	2.51
16年目	H 49	0.3607	90.0			6.73	2.43
17年目	H 50	0.3468	90.0			6.77	2.35
18年目	H 51	0.3335	90.0			6.84	2.28
19年目	H 52	0.3207	90.0			6.89	2.21
20年目	H 53	0.3083	90.0			6.95	2.14
21年目	H 54	0.2965	90.0			6.98	2.07
22年目	H 55	0.2851	90.0			7.02	2.00
23年目	H 56	0.2741	90.0			7.06	1.94
24年目	H 57	0.2636	90.0			7.11	1.87
25年目	H 58	0.2534	90.0			7.18	1.82
26年目	H 59	0.2437	90.0			7.15	1.74
27年目	H 60	0.2343	90.0			7.12	1.67
28年目	H 61	0.2253	90.0			7.08	1.59
29年目	H 62	0.2166	90.0			8.01	1.74
30年目	H 63	0.2083	90.0			7.14	1.49

31年目	H 64	0.2003	90.0			7.13	1.43
32年目	H 65	0.1926	90.0			7.11	1.37
33年目	H 66	0.1852	90.0			7.09	1.31
34年目	H 67	0.1780	90.0			7.06	1.26
35年目	H 68	0.1712	90.0			7.04	1.21
36年目	H 69	0.1646	90.0			7.03	1.16
37年目	H 70	0.1583	90.0			6.99	1.11
38年目	H 71	0.1522	90.0			6.98	1.06
39年目	H 72	0.1463	90.0			6.96	1.02
40年目	H 73	0.1407	90.0			6.94	0.98
41年目	H 74	0.1353	90.0			6.92	0.94
42年目	H 75	0.1301	90.0			6.89	0.90
43年目	H 76	0.1251	90.0			6.88	0.86
44年目	H 77	0.1203	90.0			6.84	0.82
45年目	H 78	0.1157	90.0			6.83	0.79
46年目	H 79	0.1112	90.0			6.82	0.76
47年目	H 80	0.1069	90.0			6.79	0.73
48年目	H 81	0.1028	90.0			6.77	0.70
49年目	H 82	0.0989	90.0	-35.00	-3.46	6.74	0.67
合計				887.80	726.22	331.73	95.26
単純事業費計				922.80		331.73	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

年次 (基準年)	総走行台別の年次別伸び率 (東海7口分)			GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合計(億円) 便益合計(①~③) 割引率%						
	年度 H 23	乗用車種			乗用車種 小型貨物	普通貨物	計	①	普通貨物	小型貨物	乗用車種	普通貨物	計	③							
		乗用車種 小型貨物	普通貨物													現在価値 ①×(A)	現在価値 (A)×2	現在価値 (A)×(A)			
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.6156	90.0	50.34	13.96	29.23	93.53	63.18	4.94	0.38	0.38	5.70	3.85	4.86	3.28	104.09	70.32
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.6496	90.0	50.36	13.85	29.25	93.46	60.71	4.94	0.38	0.38	5.70	3.70	4.86	3.16	104.02	67.57
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.6246	90.0	50.39	13.73	29.26	93.38	58.33	4.94	0.38	0.38	5.70	3.56	4.85	3.03	103.94	64.92
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.6006	90.0	50.41	13.62	29.28	93.31	56.04	4.95	0.38	0.38	5.70	3.42	4.85	2.91	103.86	62.38
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.5775	90.0	50.44	13.50	29.30	93.24	53.84	4.95	0.37	0.38	5.70	3.29	4.85	2.80	103.79	59.93
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.5539	90.0	77.49	20.00	47.40	144.89	80.45	6.61	0.53	3.24	10.38	5.76	7.04	3.91	162.31	90.12
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.5339	90.0	77.53	19.83	47.42	144.78	77.30	6.61	0.52	3.24	10.38	5.54	7.04	3.76	162.20	86.80
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.5134	90.0	77.56	19.66	47.45	144.68	74.27	6.62	0.52	3.24	10.38	5.33	7.03	3.61	162.09	83.21
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.4936	90.0	77.60	19.49	47.48	144.57	71.37	6.62	0.52	3.24	10.38	5.12	7.03	3.47	161.98	79.96
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.4746	90.0	77.64	19.32	47.51	144.47	68.57	6.62	0.51	3.25	10.38	4.93	7.02	3.33	161.87	76.83
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.4564	90.0	77.04	19.20	47.61	143.85	65.65	6.57	0.51	3.25	10.33	4.72	6.98	3.19	161.16	73.55
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.4388	90.0	76.43	19.08	47.72	143.23	62.85	6.52	0.50	3.26	10.29	4.51	6.94	3.04	160.45	70.41
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.4220	90.0	75.83	18.96	47.83	142.61	60.18	6.47	0.50	3.27	10.24	4.32	6.90	2.91	159.75	67.41
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.4057	90.0	75.22	18.84	47.93	141.99	57.61	6.42	0.50	3.27	10.19	4.13	6.85	2.78	159.04	64.53
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.3901	90.0	74.62	18.72	48.04	141.37	55.15	6.37	0.50	3.28	10.14	3.96	6.81	2.66	158.33	61.77
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.3751	90.0	74.02	18.60	48.14	140.75	52.80	6.31	0.49	3.29	10.10	3.79	6.77	2.54	157.62	59.13
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.3607	90.0	73.41	18.48	48.25	140.13	50.54	6.26	0.49	3.30	10.05	3.62	6.73	2.43	156.91	56.60
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.3468	90.0	72.81	18.35	48.35	139.51	48.39	6.21	0.49	3.30	10.00	3.47	6.69	2.32	156.20	54.17
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.3335	90.0	72.20	18.23	48.46	138.89	46.32	6.16	0.48	3.31	9.95	3.32	6.65	2.22	155.49	51.83
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.3207	90.0	71.60	18.11	48.56	138.28	44.34	6.11	0.48	3.32	9.91	3.18	6.60	2.12	154.79	49.63
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3083	90.0	71.00	17.99	48.67	137.66	42.44	6.06	0.48	3.33	9.86	3.04	6.56	2.02	154.08	47.50
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.2965	90.0	70.39	17.87	48.77	137.04	40.63	6.01	0.47	3.33	9.81	2.91	6.52	1.93	153.37	45.47
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.2851	90.0	69.79	17.75	48.88	136.42	38.89	5.95	0.47	3.34	9.76	2.78	6.48	1.85	152.66	43.52
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.2741	90.0	69.18	17.63	48.98	135.80	37.22	5.90	0.47	3.35	9.72	2.66	6.44	1.76	151.95	41.65
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.2634	90.0	68.58	17.51	49.09	135.18	35.63	5.85	0.46	3.35	9.67	2.55	6.40	1.69	151.24	39.86
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.2534	90.0	67.98	17.39	49.19	134.56	34.10	5.80	0.46	3.36	9.62	2.44	6.35	1.61	150.54	38.15
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.2437	90.0	67.37	17.27	49.30	133.94	32.64	5.75	0.46	3.37	9.57	2.33	6.31	1.54	149.83	36.51
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2343	90.0	66.77	17.15	49.40	133.32	31.24	5.70	0.45	3.38	9.53	2.23	6.27	1.47	149.12	34.94
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2253	90.0	66.16	17.03	49.51	132.70	29.90	5.64	0.45	3.38	9.48	2.14	6.23	1.40	148.41	33.43
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2166	90.0	65.56	16.91	49.61	132.08	28.61	5.59	0.45	3.39	9.43	2.04	6.19	1.34	147.70	32.00
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2083	90.0	64.96	16.79	49.72	131.46	27.38	5.54	0.44	3.40	9.38	1.95	6.15	1.28	146.99	30.62
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2003	90.0	64.35	16.67	49.82	130.85	26.21	5.49	0.44	3.40	9.34	1.87	6.11	1.22	146.29	29.30
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.1926	90.0	63.75	16.55	49.93	130.23	25.08	5.44	0.44	3.41	9.29	1.79	6.06	1.17	145.58	28.04
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.1852	90.0	63.15	16.43	50.03	129.62	24.00	5.39	0.43	3.42	9.24	1.71	6.02	1.12	144.88	26.83
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.1780	90.0	62.55	16.31	50.14	129.00	22.97	5.34	0.43	3.43	9.19	1.64	5.98	1.07	144.18	25.67
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.1712	90.0	61.96	16.19	50.24	128.39	21.98	5.29	0.43	3.43	9.15	1.57	5.94	1.02	143.48	24.56
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.1646	90.0	61.36	16.07	50.35	127.78	21.03	5.24	0.43	3.44	9.10	1.50	5.90	0.97	142.78	23.50
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.1583	90.0	60.77	15.96	50.45	127.18	20.13	5.18	0.42	3.45	9.05	1.43	5.86	0.93	142.09	22.49
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1522	90.0	60.18	15.84	50.56	126.57	19.26	5.13	0.42	3.45	9.01	1.37	5.82	0.89	141.39	21.52
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1463	90.0	59.58	15.72	50.66	125.97	18.43	5.08	0.42	3.46	8.96	1.31	5.78	0.85	140.70	20.59
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1407	90.0	58.99	15.60	50.77	125.36	17.64	5.03	0.41	3.47	8.91	1.25	5.74	0.81	140.01	19.70
41年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1353	90.0	58.41	15.48	50.87	124.76	16.88	4.98	0.41	3.48	8.87	1.20	5.69	0.77	139.33	18.85
42年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1301	90.0	57.82	15.36	50.98	124.16	16.15	4.93	0.41	3.48	8.82	1.15	5.65	0.74	138.64	18.04
43年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1251	90.0	57.24	15.25	51.08	123.57	15.46	4.88	0.40	3.49	8.78	1.10	5.61	0.70	137.96	17.26
44年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1203	90.0	56.66	15.13	51.19	122.97	14.79	4.83	0.40	3.50	8.73	1.05	5.57	0.67	137.28	16.51
45年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1157	90.0	56.08	15.01	51.29	122.38	14.15	4.78	0.40	3.50	8.69	1.00	5.53	0.64	136.60	15.80
46年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1112	90.0	55.50	14.90	51.40	121.79	13.54	4.74	0.39	3.51	8.64	0.96	5.49	0.61	135.93	15.12
47年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99262	0.1069	90.0	54.92	14.78	51.50	121.21	12.96	4.69	0.39	3.52	8.60	0.92	5.45	0.58	135.25	14.46
48年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1028	90.0	54.35	14.66	51.61	120.62	12.40	4.64	0.39	3.53	8.55	0.88	5.41	0.56	134.59	13.84
49年目	H 82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.0989	90.0	53.78	14.55	51.72	120.04	11.87	4.59	0.39	3.53	8.51	0.84	5.37	0.53	133.92	13.24
合計								3,252.08	841.31	2,370.17	6,463.55	1,931.51	280.69	22.34	153.83	456.86	135.15	306.24	93.18	7,226.66	2,159.94

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	4	14.4km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				87,528	
	改良費				7,429	
		土工	m ³	418,000	1,770	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	-	-	
		法面工	m ²	96,500	38	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,698	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	-	-	
		函渠工	m	1,150	2,043	ボックスラーメン
		排水工	m	273,000	499	
		中央分離帯工	m	1,830	62	
		雑工	式	1	318	側道、跨道橋
	橋梁費				69,672	
		100m以上	m	18,610	62,738	
		100m未満	m	1,420	6,934	
	トンネル費				0	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				9,232	
		IC	箇所	3	9,232	トランペット型
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				237	
		車道舗装	m ²	20,150	237	
		歩道舗装	m ²	-	-	
	付帯施設費				958	
		交通管理施設工	式	1	958	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
②	用地及補償費				18,780	
	用地費		m ²	-	15,544	
		宅地	m ²	98,000	7,840	
		田畑	m ²	375,000	7,500	
		山林・原野	m ²	41,000	204	
		その他	m ²	-	-	
	補償費		式	1	3,236	
③	間接経費		式		23,692	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				130,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	4	14.4km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				81,280	
	改良費				7,429	
		土工	m3	418,000	1,770	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	-	-	
		法面工	m ²	96,500	38	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,698	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	-	-	
		函渠工	m	1,150	2,043	ボックスラーメン
		排水工	m	273,000	499	
		中央分離帯工	m	1,830	62	
		雑工	式	1	318	側道、跨道橋
	橋梁費				63,424	
		100m以上	m	16,757	56,490	
		100m未満	m	1,420	6,934	
	トンネル費				0	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				9,232	
		IC	箇所	3	9,232	トランペット型
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				237	
		車道舗装	m ²	20,150	237	
		歩道舗装	m ²	-	-	
	付帯施設費				958	
		交通管理施設工	式	1	958	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
②	用地及補償費				4,158	
	用地費		m ²	-	3,500	
		宅地	m ²	22,066	1,765	
		田畑	m ²	84,438	1,689	
		山林・原野	m ²	9,232	46	
		その他	m ²	-	-	
	補償費		式	1	658	
③	間接経費		式		10,744	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				96,182	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道475号	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	4	14.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.4	293	H42年度、(清掃・植栽・雪氷・交通管理巡回)
修繕費	式	1	375	H42年度
その他	式			H42年度
維持管理費合計			668	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出する
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上